

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H00003

研究課題名（和文）西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 - 学際的比較研究

研究課題名（英文）Transformations of the Secular and Reconfigurations of "the Religious" in the West: Interdisciplinary and Comparative Research

研究代表者

伊達 聖伸 (DATE, Kiyonobu)

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：90550004

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 30,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、加速する時代のなかで西洋社会の「世俗」が新局面に入ったという認識の地平に立ち、多様な地理的文脈を意識しながら、「世俗的なもの」と「宗教的なもの」の再編の諸相を次の3つの観点から明らかにした。(1)特にカトリック文化圏における「宗教的伝統」の再構成のあり方を解明した。(2)近現代の西洋において「他者化」ないし「周辺化」されてきたムスリムがいかに西洋社会に定着すると同時に、社会とのあいだに葛藤を抱えているのかを明らかにした。(3)「世俗」の進展そのものが環境や人間の条件を変えつつあるという認識に立ち、西洋社会における無宗教の増大も踏まえつつ、宗教と世俗の再編のあり方を分析した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

従来の研究では、私たちが理解している「宗教」が、西洋の世俗的な近代の時代の刻印を強く受けていることは強調されてきたが、世俗の時代の歴史的な展開につれて、「宗教的なもの」や「世俗的なもの」が、西洋においても流動化してきていることについては十分な関心が払われてこなかった。本研究では、「世俗」の時代の「宗教」概念を自明視せず、「ポスト世俗」の時代における「宗教的なもの」と「世俗的なもの」の関係の諸相を西洋世界のさまざまな事例をもとに具体的に描き出すことによって、「世俗」や「世俗的なもの」をも包み込んだ宗教研究のあり方を示すことができた。

研究成果の概要（英文）：This research clarified various aspects of the Western reorganization of the "secular" and the "religious" from the following three perspectives. (1) The reconfiguration of "religious traditions," especially in the Catholic cultural sphere. (2) The way in which Muslims, who have been "marginalized" in the West, have become entrenched in Western society, while facing to conflicts with their society. (3) Analysis of the ways in which religion and secularity are being reorganized, taking into account the growing number of non-religious people in Western societies.

In this research, we have examined the historical development of the "secular" period. We have not taken the concept of "religion" in the "secular" era as self-evident, but rather, we have specifically depicted various aspects of the relationship between the "religious" and the "secular" in the "post-secular" era based on various examples from the Western world.

研究分野：宗教学・地域研究

キーワード：宗教学 地域研究 世俗 カトリック イスラーム ジェンダー

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 研究開始当初、「宗教」(religion)概念が近代西洋において生み出されたこと、そして特にプロテスタント的な負荷を帯びていることの問題点は、すでに日本の宗教学・宗教研究の「常識」になって久しかった。だが、その結果、「西洋」や「欧米」がしばしば十把一絡げにされ、西洋内部の多様性や特に最近の変化がともすると見過ごされていた。

(2) いわゆる「宗教復興」や「ポスト・セキュラー」が語られ、テロに対する恐怖や排外主義的な動向が高まるなか、西洋における世俗と宗教の来歴と現状についての研究の重要性は認識されていたが、それに見合うだけの研究のアップデートがともなっていなかった。

(3) 他方、西洋の世俗と宗教を対象とする研究は、欧米圏では着実に蓄積されつつあったが、それらの研究は、しばしば政策的な関心を直接的に反映していたり、日本の学術とは異なる環境に身を置く研究者の視点の偏りが含まれていたりするなどの問題があった。

(4) たんなるキャッチアップとは質的に異なる次元において、それらの研究成果を吸収しつつ上手な距離を取り、適切な比較の視座に位置づけ、新しいナラティブで全体像を語り直すことが求められていた。

2. 研究の目的

(1) そこで本研究は、「世俗」の時代に「宗教」を同定し比較することからはじまった宗教学の来歴を批判的にとらえ返し、西洋のさまざまな地理的・歴史的文脈に応じた「世俗」と「宗教」の関係を再把握し、比較する宗教学に更新することを目的に掲げた。

(2) このような目的を掲げる背景には、西洋社会の「世俗」の継続と変容があった。近代において覇権を握った「世俗」の体制と価値観は続いているが、時代が加速するなかで、さまざまな現代社会の挑戦を受けて揺らいだり、巻き返しが起きたり、「宗教的なもの」との融合が起きたりしている。本研究は、おもに西洋社会における多様な世俗のあり方を、宗教的なものとの関係において解明することを目的とした。

(3) ヨーロッパ大陸とアメリカ大陸を中心とするいわゆる地理的欧米地域における世俗と宗教の関係を正面から扱いながら、周辺や外部からの視点も導入して「西洋」のあり方を改めて問い直すことを目指した。

3. 研究の方法

(1) 西洋においても従来の「宗教」と「世俗」の二分法的な理解が崩れてきていること、そのため、「世俗」の時代の「宗教」概念を自明視せず、「世俗」や「世俗的なもの」をも研究対象に取り込むことを共通意識としつつ、研究プロジェクト参加者各人のディシプリンを尊重する形で、次の3つの班に分かれて研究を進めた。

「宗教的伝統」の再構成。西洋社会の宗教と世俗の歴史にとって、19世紀の国民国家形成期と並び、1960年代は伝統宗教の脱自明化が進んだ注目すべき時期である。特にカトリック地域では、第二ヴァチカン公会議にともなう「近代化」の結果、プロテスタント地域にも増して、世俗と宗教の関係そして信仰の条件が大きく変化した。それから半世紀以上が経過し、新しい世代にとって宗教はしばしば縁遠い存在となっている。このように現代の西洋社会では、もともと社会の基層にあった伝統宗教が脱自明化しているが、他方ではそれが「宗教的伝統」の再構成を促している。それはおそらく従来の「宗教」への回帰とは異なるもので、「世俗」と「宗教」の再編という構図において読み解くのが妥当だろう。また、南米やアフリカを中心に、ヨーロッパにも広がるペンテコステ派が、いかなる意味で「世俗的」かつ「宗教的」なのか、いかなる意味で「脱伝統的」なのかを解明していく。

イスラームとジェンダー。西洋における「他者の宗教」としては、ユダヤ教やヒンドゥー教、シク教や仏教など多様だが、イスラームは特に注目すべき存在である。イスラーム教徒の宗教的価値と近現代西洋の世俗的価値は相反すると思われがちだが、本研究では、世俗的な西洋社会に暮らすムスリムの世俗的・宗教的アイデンティティは現実には非常に多様化しており、典型的に再把握する必要があるという認識に立つ。また、「世俗」が覇権を握った近代において、「他者化」されたとは言わないまでも「周辺化」された「宗教」に宛がわれた位置と、「女性」の地位には明白な相関関係がある。現代西洋社会におけるイスラーム(特にヴェール着用をめぐる議論)、また同性婚、生殖医療などジェンダーやセクシュアリティに関係するトピック、さらに言えばスピリチュアル・ケアや人間の生死や生活にかかわる問

題（性と生、家族など）は、公私の分割線の引き直しにもかかわっており、この領域の事例研究は「世俗」と「宗教」の再編を読み解く鍵を握っている。

世俗の新展開と人間の条件の変化。「宗教的伝統」の再構成と「他者の宗教」の増大は、世俗化の進展と同時的である。「世俗的近代」においても宗教的伝統はしばしば根強く、戦闘的無神論は周辺的存在だったが、近年そうした伝統の脱自明化が急速に進み、無神論や無宗教の地位に変化が起きている。西洋における無宗教の地域的文脈に応じた違い（たとえば旧共産圏とカトリック圏の違い）の解明は、日本の無宗教との比較という地平にも道を開く。また、世俗の継続と変容にともない、人間を取り巻く環境や技術も変わり（原発、インターネット、遺伝子工学、人工知能など）、「人間の条件」が改めて問われている。ここに宗教および世俗の歴史という補助線を引くことにより、現在の人間の地平を明らかにするとともに、そこにどのような地域的・歴史的な文脈の特徴が表われているのかを考察する。

4. 研究成果

(1) 最もわかりやすく目に見える成果は、上記3冊の論文に対応する全3巻のシリーズ「西洋における宗教と世俗の変容」を勁草書房から刊行したことである。

『カトリック的伝統の再構成』では、西洋世界において、世俗的近代に敵対的だったカトリックが、現代史の展開のなかでどのような変化を遂げてきたのかを大きな見取り図のもとに描き出すとともに、いくつかの具体例から叙述した。

『イスラームの定着と葛藤』では、第二次世界大戦後のヨーロッパにおいて高度経済成長を支えてきたムスリム移民に対する各国ごとの包摂と排除の論理を、比較の視座から読み解くとともに、そこで経験されているムスリムの共存をめぐる多様なリアリティを描出した。

『世俗の新展開と「人間」の変貌』では、「ポスト世俗」の時代の「世俗」「無宗教」「無神論」などの意味合いを、西洋内部の各地域の特性とともに明らかにし、世俗の時代を支えてきた「人間」概念を、「自然」「動物」「人種」「女性」「機械」などの概念との関係から問い直した。

(2) この結果は、班ごとに年度ごとに2～3回のペースで行なった定例研究会の研究発表に基づいている。本研究はまた、プロジェクトを効果的に進めるために、海外の研究者とのネットワークを活用して研究を行なった。コロナ禍のために計画の変更を余儀なくされたが、それでも海外調査を遂行し、オンライン・ハイブリッドでのワークショップやシンポジウムを開催することができた。

(3) その他、各人の論文や学会発表や書籍等は後述の「主な発表論文等」以下に譲る。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計140件（うち査読付論文 26件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 46件）

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 6
2. 論文標題 アナトール・フランスにおける二つのライシテの相剋	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 未来哲学	6. 最初と最後の頁 11-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 64(2)
2. 論文標題 Les petites societes selon Shunsuke Tsurumi au prisme de son sejour a Montreal en 1979 et 1980	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Recherches sociographiques	6. 最初と最後の頁 293-315
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7202/1110137ar	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 15
2. 論文標題 「静かな革命」期における世俗的ナショナリズムの宗教性とカトリックの反応	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ケベック研究	6. 最初と最後の頁 10-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 60
2. 論文標題 Le Japon, un modele de laicite pour la France au moment de la loi de 1905. Interactions, malentendus et appropriations reciproques	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Ebisu	6. 最初と最後の頁 255-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/ebisu.8672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 26
2. 論文標題 スランにおけるパウロ 進る霊のことば	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 パトリスティカ	6. 最初と最後の頁 42-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 97(3)
2. 論文標題 神秘主義研究の新天地 身体、女性、霊のことば	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 7月号
2. 論文標題 自分からはじめるエネルギー転換	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 福音宣教	6. 最初と最後の頁 32-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 1月号
2. 論文標題 信仰の証としての節電、そして応用問題としてのエアコン	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 132(5)
2. 論文標題 回顧と展望：現代 ロシア・東欧・北欧	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 389-395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤香寿実	4. 巻 896
2. 論文標題 共和国の多様性を示すローカルなライセンス：第四〇回渋沢・クローデル賞 奨励賞 『承認のライセンスとムスリムの場所づくり：「辺境の街」ストラスブールの実践』(人文書院、2023)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 青淵 / 総務G 編	6. 最初と最後の頁 , 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 江川純一	4. 巻 97-2
2. 論文標題 ファシスト政権下のイタリア宗教史学	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 519-551
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 5月号増刊号
2. 論文標題 所有論をケアの視点から考えるー『ロビンソン・クルーソー』から『わたしを離さないで』まで	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 現代思想 (総特集 鷲田清一)	6. 最初と最後の頁 137-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 9月号
2. 論文標題 平野啓一郎と三島由紀夫－ワイルドの "サロメ"的悲劇	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新潮	6. 最初と最後の頁 175-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 1月号
2. 論文標題 小さな物語 の復興－『フランケンシュタイン』を読む(1) 戦争	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 247-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 2月号
2. 論文標題 小さな物語 の復興－『フランケンシュタイン』を読む(2) 論破と対話	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 256-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上まどか	4. 巻 71
2. 論文標題 ロシアの愛国心教育と宗教文化教育：2000年代前半の沿海地方における取り組みを中心に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 清泉女子大学紀要	6. 最初と最後の頁 17-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浜田華練	4. 巻 52
2. 論文標題 聖セルギウスから聖サルキスへ：一二世紀アルメニアにおける『聖サルキス殉教伝』の成立	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 エイコーン	6. 最初と最後の頁 8-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白尾安紗美	4. 巻 27
2. 論文標題 「開かれたライシテ」とアルザス=モゼルの宗教教育 1950年代～1960年代のプロテスタントの議論に着目して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 年報 地域文化研究	6. 最初と最後の頁 21-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Date Kiyonobu	4. 巻 54
2. 論文標題 Partisans de la laicite de droite au Japon	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Sociologie et societes	6. 最初と最後の頁 113-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7202/1109536ar	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 6
2. 論文標題 アナトール・フランスにおける二つのライシテの相剋	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 未来哲学	6. 最初と最後の頁 11-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Date Kiyonobu	4. 巻 64
2. 論文標題 Les petites societes selon Shunsuke Tsurumi au prisme de son sejour a Montreal en 1979 et 1980	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Recherches sociographiques	6. 最初と最後の頁 293-293
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7202/1110137ar	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 15
2. 論文標題 「静かな革命」期における世俗的ナショナリズムの宗教性とカトリックの反応	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ケベック研究	6. 最初と最後の頁 10-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Date Kiyonobu	4. 巻 60
2. 論文標題 Le Japon, un modele de laicite pour la France au moment de la loi de 1905 Interactions, malentendus et appropriations reciproques	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Ebisu	6. 最初と最後の頁 255-278
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4000/ebisu.8672	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 39
2. 論文標題 フランスにおけるイスラーム言説と研究の諸相 政治・社会・思想・日常生活	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東京大学宗教学年報	6. 最初と最後の頁 22-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 403
2. 論文標題 書評論文「奥井智之『宗教社会学』東京大学出版会、2021年」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 166-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 26
2. 論文標題 スランにおけるパウロ 進む霊のことば	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 パトリスティカ	6. 最初と最後の頁 42-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 97(3)
2. 論文標題 神秘主義研究の新地平 身体、女性、霊のことば	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 1-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 25
2. 論文標題 スランにおけるパウロ研究序説 『パウロの神秘論』の風を受けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 パトリスティカ	6. 最初と最後の頁 151-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 1
2. 論文標題 もうひとつの原典 「泥海古記」を読みなおすために	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 「原典」 - 教への豊かさを汲み取るために - (2021年度天理大学学術・研究・教育活動助成 教理研究会報告書)	6. 最初と最後の頁 13-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 1
2. 論文標題 信仰の証としての節電、そして応用問題としてのエアコン	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 7
2. 論文標題 自分からはじめるエネルギー転換	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 福音宣教	6. 最初と最後の頁 32-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 77
2. 論文標題 信仰の証としての「土と農」 - ドイツの教会の例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 30-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goro Christoph Kimura	4. 巻 24
2. 論文標題 Znaczenie jezykowej domeny religii dla rozwoju jezykow regionalnych	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Cassubiana_	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 24
2. 論文標題 異言語間コミュニケーションの一方略としての機械翻訳	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ことばと社会	6. 最初と最後の頁 18-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊千秋	4. 巻 109
2. 論文標題 聖職者は戦場にむかうカトリック青年平信徒に何を望んだのか パンフレット『君の背囊のなかに...』 (1938年出版)をめぐる一考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 青山国際政経論集	6. 最初と最後の頁 55-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34321/22582	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川浩之	4. 巻 51
2. 論文標題 ブリティッシュ・ワールドの批判的再検討に向けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 154-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川浩之	4. 巻 541
2. 論文標題 女王なき後の英連邦の行方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Voice	6. 最初と最後の頁 140-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Hiroyuki	4. 巻 22
2. 論文標題 The British Empire in History and Memory: Britain's Relations with Ireland and India from the Early Twentieth Century to the Present	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 151-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Hiroyuki	4. 巻 112(1)
2. 論文標題 Public Health, Agricultural Administration, and Colonial Policy Studies in Pre-war Japan: A Comparison with Imperial and Commonwealth Studies in Britain	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Round Table: The Commonwealth Journal of International Affairs	6. 最初と最後の頁 27-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00358533.2023.2165302	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 132(5)
2. 論文標題 回顧と展望：現代 ロシア・東欧・北欧	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 史学雑誌	6. 最初と最後の頁 389-395
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 45
2. 論文標題 社会主義期ポーランドにおける人間形成 『宗教』と『世俗』のはざままで	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 70-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 江川 純一	4. 巻 97
2. 論文標題 ファシスト政権下のイタリア宗教史学	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 3-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20716/rsjars.97.2_3	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 288
2. 論文標題 栗田知宏著 『ブリティッシュ・エイジアン音楽の社会学 交渉するエスニシティと文化実践』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 561-563
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4057/jsr.72.561	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 289
2. 論文標題 第20回日本社会学会奨励賞【著書の部】受賞者「自著を語る」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 55-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 291
2. 論文標題 イスラームと女性のエージェンシー ポスト構造主義, 自己規律化論, ポスト伝統社会論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 246-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 2022年度
2. 論文標題 グローバル時代に必要な素養――「マタイの福音」と現代ムスリムを通じて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 チャペル講話集	6. 最初と最後の頁 57-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立田由紀恵	4. 巻 3
2. 論文標題 Various Ways of Being a Minority: Cases of the Croats and the Jewish in Bosnia and Herzegovina	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ROLES Review_	6. 最初と最後の頁 195-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤香寿実	4. 巻 896
2. 論文標題 共和国の多様性を示すローカルなライシテ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 青淵	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 5
2. 論文標題 所有論をケアの視点から考えるー『ロビンソン・クルーソー』から『わたしを離さないで』まで	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 現代思想 (総特集 鷲田清一)	6. 最初と最後の頁 137-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 9
2. 論文標題 平野啓一郎と三島由紀夫ーワイルドの "サロメ"的悲劇	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 新潮	6. 最初と最後の頁 175-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 1
2. 論文標題 小さな物語 の復興ー『フランケンシュタイン』を読む (1) 戦争	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 247-259
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 2
2. 論文標題 小さな物語 の復興ー『フランケンシュタイン』を読む (2) 論破と対話	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 256-268
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 8月号
2. 論文標題 エッセイ「私にとってフェミニズムとは」(特集=わたし/たちの声、詩、ジェンダー、フェミニズム)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 56-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 春号_
2. 論文標題 論考「弱者の視点から見るー暴力と共生の物語」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 405-425
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 夏号
2. 論文標題 論考「SF的想像力が生み出すサバイバルの物語」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 421-441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 秋号_
2. 論文標題 論考「有害な男らしさ に抗する文学を読む」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 197-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 11月号
2. 論文標題 追悼論文「エリザベス女王 唇を噛み締めて」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 256-263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 冬号
2. 論文標題 死者の魂に思いを馳せるー想像力のいつくしみ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 229-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 論考「翔ぶ女たちー野上弥生子論」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 27-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 書評論文「岩川ありさ『物語とトラウマ』」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 636-637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 「『親切なクムジャさん』論 ケアの臨界点」(特集=パク・チャヌク)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 1/27発売号
2. 論文標題 書評論文「物語の効力と危うさの両方を「予言」する」鴻巣友季子『文学は予言する』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 波	6. 最初と最後の頁 86-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 6月号
2. 論文標題 批評「『エエエブ』と文学のエンパワメント 辻村深月と野上弥生子」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 2-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上まどか	4. 巻 71
2. 論文標題 ロシアの愛国心教育と宗教文化教育：2000年代前半の沿海地方における取り組みを中心に	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 清泉女子大学紀要	6. 最初と最後の頁 17-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 井上まどか	4. 巻 2023
2. 論文標題 軍隊とロシア正教会	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代宗教	6. 最初と最後の頁 195-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代・大串尚代・豊田真穂・渡辺将人	4. 巻 57
2. 論文標題 座談会「人工妊娠中絶のゆくえ」(司会)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『アメリカ研究』	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 964
2. 論文標題 イスラエルが繁栄する陰で：リベラルな国際秩序の非リベラルな参加要件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界_	6. 最初と最後の頁 191-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 95
2. 論文標題 ウクライナ・ロシア関係史 - 2022年ウクライナ侵攻の背景 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地歴・公民資料	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 823
2. 論文標題 ユダヤ人と被差別部落	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田華練	4. 巻 52
2. 論文標題 聖セルギウスから聖サルキスへ：一二世紀アルメニアにおける『聖サルキス殉教伝』の成立	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 エイコーン	6. 最初と最後の頁 8-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田華練	4. 巻 5
2. 論文標題 An Armenian Manuscript in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Areveelaasiakan gitut'yunner (Eastern Asian Studies)	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤清子	4. 巻 77(6)
2. 論文標題 進化論教育をめぐるアメリカの現在 自由、選択と「公」からの離脱	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白尾安紗美	4. 巻 27
2. 論文標題 「開かれたライシテ」とアルザス=モゼルの宗教教育 1950年代 1960年代のプロテスタントの議論に着目して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 年報 地域文化研究	6. 最初と最後の頁 21-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 39
2. 論文標題 フランスにおけるイスラーム言説と研究の諸相 政治・社会・思想・日常生活	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東京大学宗教学年報	6. 最初と最後の頁 22-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 403
2. 論文標題 書評論文「奥井智之『宗教社会学』東京大学出版会、2021年」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 166-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 13
2. 論文標題 聖職者の性的スキャンダルを通して見るフランス・カトリック教会の現状 制度的権威の失墜とカリスマ的権威の失墜	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 113-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 29(3)
2. 論文標題 Note de lecture. Lucia Ferretti et Francois Rocher dir., Les enjeux d'un Quebec laique. La loi 21 en perspective, Del Busso editeur, 2020. et Leila Celis, Dia Dabby, Dominique Leydet et Vincent Romani dir., Moderation ou extremisme? Regards critiques sur la loi 21, Presses de l'Universite Laval, 2020.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin d'histoire politique	6. 最初と最後の頁 224-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 25
2. 論文標題 スランにおけるパウロ研究序説 『パウロの神秘論』の風を受けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 パトリスティカ	6. 最初と最後の頁 151-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 1
2. 論文標題 もうひとつの原典 「泥海古記」を読みなおすために	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 「原典」 - 教への豊かさを汲み取るために - (2021年度天理大学学術・研究・教育活動助成 教理研究会報告書)	6. 最初と最後の頁 13-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 77
2. 論文標題 信仰の証としての「土と農」 - ドイツの教会の例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 30-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goro Christoph Kimura	4. 巻 24
2. 論文標題 Znaczenie jezykowej domeny religii dla rozwoju jezykow regionalnych	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Acta Cassubiana_	6. 最初と最後の頁 39-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 24
2. 論文標題 異言語間コミュニケーションの一方略としての機械翻訳	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ことばと社会	6. 最初と最後の頁 18-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊千秋	4. 巻 109
2. 論文標題 聖職者は戦場にむかうカトリック青年平信徒に何を望んだのか パンフレット『君の背囊のなかに...』 (1938年出版)をめぐる一考察	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 青山国際政経論集	6. 最初と最後の頁 55-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34321/22582	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川浩之	4. 巻 51
2. 論文標題 ブリティッシュ・ワールドの批判的再検討に向けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 154-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川浩之	4. 巻 541
2. 論文標題 女王なき後の英連邦の行方	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Voice	6. 最初と最後の頁 140-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Hiroyuki	4. 巻 22
2. 論文標題 The British Empire in History and Memory: Britain's Relations with Ireland and India from the Early Twentieth Century to the Present	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 151-156
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 OGAWA Hiroyuki	4. 巻 112(1)
2. 論文標題 Public Health, Agricultural Administration, and Colonial Policy Studies in Pre-war Japan: A Comparison with Imperial and Commonwealth Studies in Britain	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 The Round Table: The Commonwealth Journal of International Affairs	6. 最初と最後の頁 27-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00358533.2023.2165302	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤久子	4. 巻 45
2. 論文標題 社会主義期ポーランドにおける人間形成 『宗教』と『世俗』のはざままで	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 70-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 288
2. 論文標題 栗田知宏著 『ブリティッシュ・エイジアン音楽の社会学 交渉するエスニシティと文化実践』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 561-563
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4057/jsr.72.561	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 289
2. 論文標題 第20回日本社会学会奨励賞【著書の部】受賞者「自著を語る」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 55-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 291
2. 論文標題 イスラームと女性のエージェンシー ポスト構造主義, 自己規律化論, ポスト伝統社会論	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 社会学評論	6. 最初と最後の頁 246-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安達智史	4. 巻 2022年度
2. 論文標題 グローバル時代に必要な素養——「マタイの福音」と現代ムスリムを通じて	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 チャペル講話集	6. 最初と最後の頁 57-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 立田由紀恵	4. 巻 3
2. 論文標題 Various Ways of Being a Minority: Cases of the Croats and the Jewish in Bosnia and Herzegovina	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ROLES Review_	6. 最初と最後の頁 195-203
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 8月号
2. 論文標題 エッセイ「私にとってフェミニズムとは」(特集=わたし/たちの声、詩、ジェンダー、フェミニズム)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代詩手帖	6. 最初と最後の頁 56-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 春号_
2. 論文標題 論考「弱者の視点から見るー暴力と共生の物語」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 405~425
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 夏号
2. 論文標題 論考「SF的想像力が生み出すサバイバルの物語」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 421~441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 秋号_
2. 論文標題 論考「 有害な男らしさ に抗する文学を読む」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 197-219
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 11月号
2. 論文標題 追悼論文「エリザベス女王 唇を噛み締めて」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 256-263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 冬号
2. 論文標題 死者の魂に思いを馳せるー想像力のいつくしみ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 小説 TRIPPER (トリッパー)	6. 最初と最後の頁 229-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 論考「翔ぶ女たちー野上弥生子論」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 27-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 書評論文「岩川ありさ『物語とトラウマ』」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 636-637
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 3月号
2. 論文標題 「『親切なおくみちゃん』論 ケアの臨界点」(特集=パク・チャヌク)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 1/27発売号
2. 論文標題 書評論文「物語の効力と危うさの両方を「予言」する」鴻巣友季子『文学は予言する』」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 波	6. 最初と最後の頁 86-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 6月号
2. 論文標題 批評「『エブエブ』と文学のエンパワメント 辻村深月と野上弥生子」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 2-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上まどか	4. 巻 2023
2. 論文標題 軍隊とロシア正教会	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 現代宗教	6. 最初と最後の頁 195-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代・大串尚代・豊田真穂・渡辺将人	4. 巻 57
2. 論文標題 座談会「人工妊娠中絶のゆくえ」(司会)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『アメリカ研究』	6. 最初と最後の頁 1-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 964
2. 論文標題 イスラエルが繁栄する陰で：リベラルな国際秩序の非リベラルな参加要件	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 世界_	6. 最初と最後の頁 191-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 95
2. 論文標題 ウクライナ・ロシア関係史 - 2022年ウクライナ侵攻の背景 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 地歴・公民資料	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 823
2. 論文標題 ユダヤ人と被差別部落	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 部落解放	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浜田華練	4. 巻 5
2. 論文標題 An Armenian Manuscript in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Areveelaasiakan gitut'yunner (Eastern Asian Studies)	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤清子	4. 巻 77(6)
2. 論文標題 進化論教育をめぐるアメリカの現在 自由、選択と「公」からの離脱	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 福音と世界	6. 最初と最後の頁 24-29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 75(9)
2. 論文標題 男性性の探究と #MeToo運動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 群像	6. 最初と最後の頁 354-363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 90
2. 論文標題 フランスのライシテを世界史に向けて語る 日本の政教関係と日露戦争との同時代性に注目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日仏文化	6. 最初と最後の頁 46-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 25
2. 論文標題 「小国」論試論 近現代日本の「宗教」と「世俗」の観点から普遍を求めて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ODYSSEUS	6. 最初と最後の頁 45-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 DATE Kiyonobu	4. 巻 29(3)
2. 論文標題 Note de lecture. Lucia Ferretti et Francois Rocher (dir.), Les enjeux d'un Quebec laique. et Leila Celis et al. (dir.), Moderation ou extremisme	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Bulletin d'histoire politique	6. 最初と最後の頁 224-229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 伊達聖伸	4. 巻 13
2. 論文標題 聖職者の性的スキャンダルを通して見るフランス・カトリック教会の現状 制度的権威の失墜とカリス マ的権威の失墜	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 113-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 94(1)
2. 論文標題 暗夜の信仰の近世 一七世紀フランス神秘主義における十字架のヨハネ解釈の諸相	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 49-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20716/rsjars.94.1_49	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡辺優	4. 巻 72(2)
2. 論文標題 泥海古記の想像力	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 天理大学学報	6. 最初と最後の頁 21-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 23
2. 論文標題 和解はいかにして可能か ドイツとポーランドの経験から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ゲルマニア	6. 最初と最後の頁 93-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Goro Christoph Kimura	4. 巻 22
2. 論文標題 Religion als Sprachdomaene bei den Kaschuben und Sorben	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Acta Cassubiana	6. 最初と最後の頁 65-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 木村護郎クリストフ	4. 巻 13
2. 論文標題 コロナ危機における宗教の役割: ドイツのキリスト教会の場合	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 73-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊千秋	4. 巻 105
2. 論文標題 フランコ独裁体制初期における「聾啞者アクション・カトリカ」創設について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 青山国際政経論集	6. 最初と最後の頁 99-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34321/21626	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 渡邊千秋	4. 巻 107
2. 論文標題 「候補会員」という制度からみるアクション・カトリカ男子青年部 (1923_1943)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 青山国際政経論集	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34321/22066	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川浩之	4. 巻 48(4)
2. 論文標題 EU離脱とイギリスの安全保障 「内部からの脅威」としてのポピュリズムと欧州懐疑主義	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際安全保障	6. 最初と最後の頁 39-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 OGAWA Hiroyuki	4. 巻 21
2. 論文標題 Treaties and Contemporary International Order in Theory and Practice	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Pacific and American Studies	6. 最初と最後の頁 85-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 江川純一	4. 巻 XXXVII特別号
2. 論文標題 ベトナムにおける宗教現象学と宗教史学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 東京大学宗教学年報	6. 最初と最後の頁 219-228
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002000018	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐藤香寿実	4. 巻 7
2. 論文標題 フランスのライシテをめぐる現代的課題 - イスラームとの関係に着目して -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 生命倫理・生命法研究資料集	6. 最初と最後の頁 62 104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 増田 一夫	4. 巻 1
2. 論文標題 人新世における可塑性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Limitrophe (リミトロフ)	6. 最初と最後の頁 51-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 井上まどか	4. 巻 62
2. 論文標題 ロシア連邦における政治と宗教のいま	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ユーラシア研究	6. 最初と最後の頁 26-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鶴見太郎	4. 巻 Online first
2. 論文標題 How Hybrid? Inter-Ethnic Relationships within the Self of Jewish Liberals in Tsarist Russia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nations and Nationalism	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/nana.12816	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 13
2. 論文標題 ケア とは何か? 横臥者たちの物語	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 臨床心理学 治療文化の考古学 (アルケオロジー)	6. 最初と最後の頁 185-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 20
2. 論文標題 (書評論文) オスカー・ワイルド著、宮崎かすみ編訳『新編獄中記 悲哀の道化師の物語』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 オスカー・ワイルド研究	6. 最初と最後の頁 108-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 4
2. 論文標題 女たちのアナキズムーメアリ・シェリーから金子文子まで	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文學界	6. 最初と最後の頁 91-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 夏季号
2. 論文標題 文学における怒り アーサー王伝説から『進撃の巨人』まで	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 文藝	6. 最初と最後の頁 134-146
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川公代	4. 巻 5
2. 論文標題 ウルフと日記ーパンデミック小説を書くこと	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 シモーヌ (現代書館)	6. 最初と最後の頁 71-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐藤清子	4. 巻 20
2. 論文標題 2020年のアメリカにおける宗教 コロナ・BLM・大統領選と信教の自由	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 現代宗教2021	6. 最初と最後の頁 235-253
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代	4. 巻 48(13)
2. 論文標題 刑罰国家と「福祉」の解体 「投資 脱投資」が問うもの	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 現代思想 臨時増刊号(総特集 ブラック・ライヴズ・マター)	6. 最初と最後の頁 124-131
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代	4. 巻 21
2. 論文標題 ブラック・ライヴズ・マター運動と岐路に立つアメリカ社会 1992年ロスアンジェルス蜂起から考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アメリカ太平洋研究	6. 最初と最後の頁 7-19
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15083/0002002422	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代	4. 巻 55
2. 論文標題 全米福祉権団体の解体—体系的人種主義、ジェンダー、反福祉のイデオロギー	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アメリカ研究	6. 最初と最後の頁 75-95
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11380/americanreview.55.0_75	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 土屋和代	4. 巻 761
2. 論文標題 「表現という剣」 ワッツ・ライターズ・ワークショップとロスアンジェルスにおける制度的人種差別との闘い	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大原社会問題研究所雑誌	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計267件（うち招待講演 73件 / うち国際学会 62件）

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Une laicite (un)consciente a la japonaise dans une societe divisee
3. 学会等名 Colloque annuel de SODRUS (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Le Japon : laicite de separation sur la scene, laicite de collaboration en coulisse
3. 学会等名 37e Conference de la Societe internationale pour la sociologie des religions (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスとケベックのイスラーム 　いかに比較するか
3. 学会等名 第82回日本宗教学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 渋沢栄一の精神的右腕・姉崎正治のフランス・ネットワーク
3. 学会等名 シンポジウム「渋沢栄一とフランス」(招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Japan, a Small Nation Feigning to be Something Greater in East Asian Context
3. 学会等名 International Workshop on Small Nations, States and Collectivities: Intellectual and Historical Possibilities (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 WATANABE Yu
2. 発表標題 Certeau le lecteur-auditeur des mystiques. A la recherche d'un murmure de l'Absent
3. 学会等名 Theological Colloquium: Dancing with the Absence. Rethinking Theology with Michel de Certeau (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 福田紗耶香, 見原礼子
2. 発表標題 欧州各国における早期離学に対する予防・介入・補償の実態について オランダの事例
3. 学会等名 日本比較教育学会第59回大会ラウンドテーブルⅠ-4「欧州各国における早期離学に対する予防・介入・補償の実態について - 欧州各国の事例から日本にみられる課題について考える」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 MIHARA Reiko
2. 発表標題 Current Status and Future of Islamic Schools in Japan
3. 学会等名 13th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia (CESA) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Kirche und Nachhaltigkeit der Blick von auSSen
3. 学会等名 Kirche und Nachhaltigkeit: Ein Blick von auSSen und innen Evangelische Akademie Abt Jerusalem (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Mukyokai ; Japanisches Christentum oder Fortsetzung der Reformation
3. 学会等名 Deutsche Gesellschaft für Natur- und Volkskunde Ostasiens (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 Anglo-South African Relations and Maritime Order in the Indian Ocean and round the Cape, 1955-76
3. 学会等名 Maritime Order Workshop (London School of Economics and Political Science) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 The Empire-Commonwealth, European Integration, and Periodization in the History of Postwar British External Policy
3. 学会等名 2nd British-East Asian Conference of Historians (BEACH) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 イギリスにおけるスプートニク事件の影響 対外政策・科学技術・市民社会
3. 学会等名 日本国際政治学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 コメント「テーマセッション：戦時下の教会 体制転換後のウクライナとその周辺国における宗教・国家・社会」
3. 学会等名 「宗教と社会」学会第31回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 書評：林志弦著『犠牲者意識ナショナリズム』
3. 学会等名 東欧史研究会9月例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 複数の視点を持つ～AI時代に第2外国語を学ぶ意味
3. 学会等名 RIRC 開設25周年記念ミニシンポジウム「正確な宗教ニュースとは～AI時代を見据えて～」(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 共生の物語をつむぎなおす ポーランドに出現した2.5次元のユダヤ人街
3. 学会等名 國學院大學日本文化研究所国際研究フォーラム「見られることで何が変わるのか ツーリズムと宗教文化」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Satoshi Adachi
2. 発表標題 Muslim and British Post-9/11: Identities in Reflexive Modernity
3. 学会等名 Workshop at Birmingham City University (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 TATTA Yukie
2. 発表標題 Islam as Minority or Majority Religion: Comparative Case Study of African Americans and Bosnian Muslims
3. 学会等名 Society for the Scientific Study of Religion (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 「これ」と「それ」の狭間にあること：ストラスブールにおけるライシテとイスラーム
3. 学会等名 洪沢・クロードル賞受賞記念講演(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 フランスにおける性的少数者のムスリムと「包摂的なモスク」
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 集合体理論から見る進歩的イスラーム運動の空間的戦略：フランスにおける取り組みを事例として
3. 学会等名 人文地理学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 多元的社会における宗教的マイノリティの場所生成：ストラスブールにおけるライシテとムスリム
3. 学会等名 地理思想研究部会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ペッタッツォーニの最高存在論 その意義と可能性
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Lady Susan and the Ethic of Care
3. 学会等名 Jane Austen Summer Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 文学にみいだせるケアの想像力
3. 学会等名 日本英文学会第76回九州大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 "私たち"の回想録 (WE-moir) としての『歲月』――ウルフとエルノーを読む
3. 学会等名 "私たち"の回想録 (WE-moir) としての『歲月』――ウルフとエルノーを読む (招待講演)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Confronting Aging and Death--Doris Lessing's The Diary of a Good Neighbour
3. 学会等名 Ageing and Literature (シンポジウム) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 領邦教会制と独ソ戦下型体制のアマルガム? : 体制転換後ロシアの政教関係
3. 学会等名 「宗教と社会」学会第31回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ロシアにおける宗教文化教育と愛国心教育
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 従軍チャプレンの制度化をめぐる：2000年代以降のロシア連邦を中心に
3. 学会等名 ロシア東欧学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 インターセクショナリティ 新たな地域文化研究の可能性(趣旨説明)
3. 学会等名 第31回東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻主催 公開シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 ロレッタ・J・ロスとリプロダクティブ・ジャスティス 強制不妊手術（断種）との闘いを中心に
3. 学会等名 第57回アメリカ学会年次大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 集合的記憶の入植 ロシア東欧におけるポグロムとパレスチナにおける暴動／反乱
3. 学会等名 シンポジウム「帝国と民族のあいだ パレスチナ／イスラエルをめぐるもうひとつの層」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 あるロシア・ユダヤ人のなかの国際関係 D・S・パスマニク『クリミアにおける革命期』を読む
3. 学会等名 日本国際政治学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 ロシア修道文学における「シリアのイサク」の影響 “ ” 概念に着目して
3. 学会等名 第23回東方キリスト教学会年次大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 HAMADA Karen, TAJARIAN Yvette
2. 発表標題 From Hamadan to Osaka, via New York: The Armenian Manuscript from Nakanishi Collection of the National Museum of Ethnology
3. 学会等名 Manuscripts Crossing Borders: Transcription, Translation, and Transference of Manuscripts in/beyond the Caucasus (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 12世紀ビザンツ・アルメニア間教会合同交渉とシリア正教会：ネルセス4世カトリ コスとミカエル総主教の書簡から
3. 学会等名 第21回日本ビザンツ学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカ合衆国におけるホームスクーリングと宗教の動向
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 TANAKA Hiroki
2. 発表標題 Droitisation de la laicite japonaise Le cas du proces du Temple de Confucius de Naha
3. 学会等名 37e Conference de la Societe internationale pour la sociologie des religions (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 TANAKA Hiroki
2. 発表標題 Miyazawa Toshiyoshi ou le premier theoricien de la laicite au Japon
3. 学会等名 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo (avec Valentine Zuber) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白尾安紗美
2. 発表標題 戦間期アルザス=モゼルの宗派混成学校 - 共和国の例外にみるもうひとつの教育の世俗化？
3. 学会等名 教育史学会 第67回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 SHIRAO Asami
2. 発表標題 Enseigner les faits religieux a l'ecole : les enjeux pour la France et le Japon
3. 学会等名 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Une laicite (un)consciente a la japonaise dans une societe divisee
3. 学会等名 Colloque annuel de SODRUS (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Le Japon : laïcité de separation sur la scene, laïcité de collaboration en coulisse
3. 学会等名 37e Conference de la Societe internationale pour la sociologie des religions (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスとケベックのイスラーム いかに関係するか
3. 学会等名 第82回日本宗教学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 渋谷栄一の精神的右腕・姉崎正治のフランス・ネットワーク
3. 学会等名 シンポジウム「渋谷栄一とフランス」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Japan, a Small Nation Feigning to be Something Greater in East Asian Context
3. 学会等名 International Workshop on Small Nations, States and Collectivities: Intellectual and Historical Possibilities (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 アナトール・フランスにおける二つのライシテの相剋
3. 学会等名 未来哲学研究所第6回シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 「宗教」概念の批判的検討から出発して ライシテ研究の立場から
3. 学会等名 日本宗教学会（第81回）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Une reflexion sur la place de la religion dans le monde politique japonais a la lumiere de l'actualite
3. 学会等名 Colloque 5e Regards croises du Reseau Europeano-japonais NihonEuropA
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 共和国の公共空間における宗教 ライシテの変容とセクト、イスラーム、カトリック
3. 学会等名 慶應義塾大学フランス公法研究会（第42回）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 鶴見俊輔における宗教 はみだしの技法
3. 学会等名 東京大学藝文書院・立命館大学加藤周一現代思想研究センター共催イベント「日本の知識人、その宗教と周辺 鶴見俊輔・加藤周一・林達夫」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 「ポスト世俗」時代における「無宗教」関連概念の分節化と「西洋」の地域的特性
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 WATANABE Yu
2. 発表標題 Certeau le lecteur-auditeur des mystiques. A la recherche d'un murmure de l'Absent
3. 学会等名 Theological Colloquium: Dancing with the Absence. Rethinking Theology with Michel de Certeau (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 神秘的経験の系譜学に向けて 新たな神秘主義理解のために
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 第四の人、あるいは？ イエズス会士セルトーと危機の時代の教会論
3. 学会等名 科学研究費補助金（基盤A）「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 学際的比較研究」（研究代表者：伊達聖伸）A班第7回研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 宗教概念批判以降の神秘主義研究あるいは霊性史研究の可能性_ ミシェル・フーコーの主体性論と霊性(スピリチュアリテ)論からの展望
3. 学会等名 龍谷大学国際社会文化研究所「宗教概念批判以降の宗教研究に基づく人間性の探究」プロジェクト研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 福田紗耶香, 見原礼子
2. 発表標題 欧州各国における早期離学に対する予防・介入・補償の実態について オランダの事例
3. 学会等名 日本比較教育学会第59回大会ラウンドテーブルI-4「欧州各国における早期離学に対する予防・介入・補償の実態について - 欧州各国の事例から日本にみられる課題について考える」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 オルタナティブ教育の場としてのイスラーム学校 日本とヨーロッパにおける動向から
3. 学会等名 日仏会館主催シンポジウム「日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MIHARA Reiko
2. 発表標題 Current Status and Future of Islamic Schools in Japan
3. 学会等名 13th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia (CESA) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Kirche und Nachhaltigkeit ; der Blick von aussen
3. 学会等名 Kirche und Nachhaltigkeit: Ein Blick von aussen und innen, Evangelische Akademie Abt Jerusalem (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Mukyokai ; Japanisches Christentum oder Fortsetzung der Reformation?
3. 学会等名 Deutsche Gesellschaft für Natur- und Volkskunde Ostasiens (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Kirche als Stimme in der Gesellschaft Deutschland und Japan
3. 学会等名 Seminar Kirche als Minderheit, Theologische Fakultät, Universität Leipzig
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Die deutsche Energiewende: ethisches Vorbild oder romantischer Sonderweg?_
3. 学会等名 Evangelische Akademie Abt Jerusalem, Braunschweig
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 WATANABE Chiaki
2. 発表標題 Activities of religious minority Catholic students in Japan at the time of Vatican II
3. 学会等名 EUARE 2022_(European Academy of Religion)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊千秋
2. 発表標題 カトリック国際学生組織「バックス・ロマーナ」の歩み
3. 学会等名 「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 - 学際的比較研究」A班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 Anglo-South African Relations and Maritime Order in the Indian Ocean and round the Cape, 1955-76
3. 学会等名 Maritime Order Workshop (London School of Economics and Political Science) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 The Empire-Commonwealth, European Integration, and Periodization in the History of Postwar British External Policy
3. 学会等名 2nd British-East Asian Conference of Historians (BEACH)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 イギリスにおけるスプートニク事件の影響 対外政策・科学技術・市民社会
3. 学会等名 日本国際政治学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 OGAWA_Hiroyuki
2. 発表標題 The UK-South Africa Security Relationship in the Era of Apartheid
3. 学会等名 Human Rights Colloquium: A HSP Symposium
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 ポスト・ブレグジットのイギリス政治外交 「脱地域統合」の可能性と限界
3. 学会等名 2022年度日本政治学会総会・研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 コメント「テーマセッション：戦時下の教会 体制転換後のウクライナとその周辺国における宗教・国家・社会」
3. 学会等名 「宗教と社会」学会第31回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 書評：林志弦著『犠牲者意識ナショナリズム』
3. 学会等名 東欧史研究会9月例会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 複数の視点を持つ～AI時代に第2外国語を学ぶ意味
3. 学会等名 RIRC 開設25周年記念ミニシンポジウム「正確な宗教ニュースとは～AI時代を見据えて～」(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 共生の物語をつむぎなおす ポーランドに出現した2.5次元のユダヤ人街
3. 学会等名 國學院大學日本文化研究所国際研究フォーラム「見られることで何が変わるのか ツーリズムと宗教文化」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 社会主義期ポーランドにおける人間形成 「宗教」と「世俗」のはざままで
3. 学会等名 東欧史研究会・小シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 ポーランドにおける価値の政治：人工妊娠中絶の政治争点化を中心に
3. 学会等名 日本政治学会 2022年度研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 戦場化するウクライナと東欧社会
3. 学会等名 大和大学社会学部・緊急公開シンポジウム「いま、ウクライナ情勢を考える」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Satoshi Adachi
2. 発表標題 Muslim and British Post-9/11: Identities in Reflexive Modernity
3. 学会等名 Workshop at Birmingham City University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 ポスト世俗化時代の社会統合研究ー女性ムスリム、エージェンシー、アイデンティティ
3. 学会等名 関西学院大学社会学部ー研究会例会報告
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 日本人改宗者ムスリム女性とリベラルなイスラーム
3. 学会等名 日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 現代ムスリム女性の社会学ーオリエンタリズムに抗し、「公共」を創る
3. 学会等名 関西学院千里国際中等部・高等部「公共」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 みんなで生きる
3. 学会等名 関西学院大学チャペルアワー講話
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 ポスト世俗化社会における女性ムスリムのスポーツ参加ーイギリスを事例として
3. 学会等名 基盤A「西洋社会における世俗の変容と『宗教的なもの』の再構成ー学際的比較研究」(B班研究会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TATTA Yukie
2. 発表標題 Islam as Minority or Majority Religion: Comparative Case Study of African Americans and Bosnian Muslims
3. 学会等名 Society for the Scientific Study of Religion (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 性的マイノリティのムスリムを包摂/排除する空間: フランスにおける動向を中心に
3. 学会等名 科研基盤(A)「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 - 学際的比較研究」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 「これ」と「それ」の狭間にあること: ストラスブールにおけるライシテとイスラーム
3. 学会等名 洪沢・クローデル賞受賞記念講演(招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 フランスにおける性的少数者のムスリムと「包摂的なモスク」
3. 学会等名 日本宗教学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 集合体理論から見る進歩的イスラーム運動の空間的戦略：フランスにおける取り組みを事例として
3. 学会等名 人文地理学会大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 多元的社会における宗教的マイノリティの場所生成：ストラスブールにおけるライシテとムスリム
3. 学会等名 地理思想研究部会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 地理学的視角を用いた移民排斥感情・運動の分析可能性
3. 学会等名 移民・マイノリティの地理学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ペッタッツォーニの最高存在論 その意義と可能性
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 IAHRローマ大会におけるペッタッツォーニとヴァティカン
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ペッタッツォーニ宗教史学の起源と展開
3. 学会等名 宗教現象学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 近現代イタリアにおけるイスラーム
3. 学会等名 「西洋の世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ファシズム期の宗教史学と人類学
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MASUDA Kazuo
2. 発表標題 「人間の死」の変貌 - - 科学技術と人間主義的ナルシズム
3. 学会等名 学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究A 西洋の世俗と宗教C班研究会報告
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MASUDA Kazuo
2. 発表標題 Traduire ou adapter? Deux chantiers du Dictionnaire des faits religieux japonais et arabe -- Le cas japonais
3. 学会等名 Coloque international --Cesor. Construire, deconstruire, reconstruire les sciences sociales. Reflechir les defis du religieux
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Lady Susan and the Ethic of Care
3. 学会等名 Jane Austen Summer Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 文学にみいだせるケアの想像力
3. 学会等名 日本英文学会第76回九州大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 "私たち"の回想録（WE-moir）としての『歲月』ーウルフとエルノーを読む
3. 学会等名 日本フランス語フランス文学会関東支部大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 OGAWA Kimiyo
2. 発表標題 Confronting Aging and Death--Doris Lessing's The Diary of a Good Neighbour
3. 学会等名 Ageing and Literature（シンポジウム）（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ラドクリフ『ユドルフォ城の怪奇』と医科学言説 死者から生者へ
3. 学会等名 日本オースティン協会第15回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 オーウェルと想像力
3. 学会等名 ジョージ・オーウェル生誕120周年記念イベント「暗闇のなかの希望」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ケア文学の誕生 交差するケアと倫理と英文学
3. 学会等名 日本英文学会北海道支部 第67回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kimiyo Ogawa
2. 発表標題 Jane Austen's Influence on Japanese Realist Novels
3. 学会等名 Jane Austen Summer Program
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 領邦教会制と独ソ戦下型体制のアマルガム？：体制転換後ロシアの政教関係
3. 学会等名 「宗教と社会」学会第31回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ロシアにおける宗教文化教育と愛国心教育
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 従軍チャプレンの制度化をめぐる：2000年代以降のロシア連邦を中心に
3. 学会等名 ロシア東欧学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 軍隊とロシア正教会
3. 学会等名 NIKORS/STREAM研究会（2023/2/26）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 基礎から学ぶロシアの宗教 - 東方正教会の誕生からウクライナ戦争まで
3. 学会等名 第25回ユーラシア・セミナー（2022/10/13）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか (ほか2名--乗松亨平・袴田玲)
2. 発表標題 ロシア・ウクライナ戦争と宗教・文化
3. 学会等名 NPO法人東京自由大学主催シンポジウム (2023/1/8)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 宗教から読み解くウクライナとロシアの歴史
3. 学会等名 清泉女子大学ラファエラ・アカデミア主催公開講座 (2022/7/16)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 戦争とロシア正教会
3. 学会等名 東京神学大学講演会 (2023/1/31)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 インターセクショナリティ 新たな地域文化研究の可能性 (趣旨説明)
3. 学会等名 第31回東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻主催 公開シンポジウム
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 ロレッタ・J・ロスとリプロダクティブ・ジャスティス 強制不妊手術（断種）との闘いを中心に
3. 学会等名 第57回アメリカ学会年次大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 荒木圭子、山田優理、藤永康政、高内悠貴、川島正樹、土屋和代（企画・司会）、山中美潮（企画・司会）
2. 発表標題 「黒人自由闘争」を再考する BLM運動からの視座
3. 学会等名 日本アメリカ史学会第19回年次大会シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 兼子歩、坂下史子、土屋和代
2. 発表標題 黒人女性史叙述の最前線 - ベリー & グロス著『アメリカ黒人女性史』の翻訳書刊行によせて
3. 学会等名 黒人研究学会例会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Inter-ethnic Relations in Late Imperial Russia Memorized: Pogroms as a Background of the Zionist Perception of Arab Riots/Uprisings in Palestine
3. 学会等名 54th Annual Convention, Association for Slavic, East European, and Eurasian Studies (ASEEES)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 集合的記憶の入植 ロシア東欧におけるポグロムとパレスチナにおける暴動/反乱
3. 学会等名 シンポジウム「帝国と民族のあいだ パレスチナ/イスラエルをめぐるもうひとつの層」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 あるロシア・ユダヤ人のなかの国際関係 D・S・パスマニク『クリミアにおける革命期』を読む
3. 学会等名 日本国際政治学会2023年度研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Carrying over of Memory: Pogroms in Ukraine during the Civil War and Riots/Uprising in Palestine in the 1920s
3. 学会等名 History from Below: Microhistorical Approaches to the History of East European Jewry, at Vilnius, Lithuania
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Carrying over of Memory: Pogroms in Ukraine during the Civil War and Riots in Palestine in the 1920s
3. 学会等名 38th Annual Conference of the Association for Israel Studies
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 ロシア修道文学における「シリアのイサク」の影響 “ ” 概念に着目して
3. 学会等名 第23回東方キリスト教学会年次大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 HAMADA Karen, TAJARIAN Yvette
2. 発表標題 From Hamadan to Osaka, via New York: The Armenian Manuscript from Nakanishi Collection of the National Museum of Ethnology
3. 学会等名 Manuscripts Crossing Borders: Transcription, Translation, and Transference of Manuscripts in/beyond the Caucasus (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 12世紀ビザンツ・アルメニア間教会合同交渉とシリア正教会：ネルセス4世カトリコスとミカエル総主教の書簡から
3. 学会等名 第21回日本ビザンツ学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 セルギウスから聖サルキスへ 12世紀アルメニア教会における聖伝の受容
3. 学会等名 第22回東方キリスト教学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 HAMADA Karen
2. 発表標題 An Armenian Manuscript in Japan
3. 学会等名 International conference “ Armenia-Japan: Past, Present and Perspectives of Future ” _
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 HAMADA Karen
2. 発表標題 Syriac Hagiographies ‘ Translated ’ by Nerses Shnorhali: Syro-Armenian Cultural Interactions and Development of Armenian Literature in the 12th Century
3. 学会等名 XIIIe_Symposium Syriacum et XIe Congres d'etudes arabes chretiennes
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカ合衆国におけるホームスクーリングと宗教の動向
3. 学会等名 日本宗教学会第82回学術大会
4. 発表年 2022年～2023年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 批判的人種理論に対するアメリカ宗教界の反応
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカの無宗教を考える 新たな最大少数派（非）宗教集団
3. 学会等名 アメリカ学会第56回年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TANAKA Hiroki
2. 発表標題 Droitisation de la laïcité japonaise ? Le cas du procès du Temple de Confucius de Naha
3. 学会等名 37e Conference de la Societe internationale pour la sociologie des religions (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 TANAKA Hiroki
2. 発表標題 Miyazawa Toshiyoshi ou le premier theoricien de la laïcité au Japon
3. 学会等名 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo (avec Valentine Zuber) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 白尾安紗美
2. 発表標題 戦間期アルザス=モゼルの宗派混成学校 - 共和国の例外にみるもうひとつの教育の世俗化？
3. 学会等名 教育史学会 第67回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 SHIRAO Asami
2. 発表標題 Enseigner les faits religieux a l'ecole : les enjeux pour la France et le Japon
3. 学会等名 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo (avec Valentine Zuber) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 アナトール・フランスにおける二つのライシテの相剋
3. 学会等名 未来哲学研究所第6回シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 「宗教」概念の批判的検討から出発して ライシテ研究の立場から
3. 学会等名 日本宗教学会 (第81回) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Une reflexion sur la place de la religion dans le monde politique japonais a la lumiere de l'actualite
3. 学会等名 Colloque 5e Regards croises du Reseau Europeano-japonais NihonEuropa (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 共和国の公共空間における宗教 ライシテの変容とセクト、イスラーム、カトリック
3. 学会等名 慶應義塾大学フランス公法研究会（第42回）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Comparing small nations in different contexts: Quebec and Japan
3. 学会等名 Small nations in Quebec and Asia: A Comparative Perspective (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 現代フランス社会とカトリック聖職者による性暴力の問題
3. 学会等名 日本宗教学会（第80回）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 National Body of Modern Japan between the Religious and the Secular: From a Viewpoint of the Study on French Secularism (laicite)
3. 学会等名 International Society for the Sociology of Religion 36th Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸、渡辺優
2. 発表標題 西洋における宗教と世俗の変容　カトリック的伝統の再構成
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸、木村護郎クリストフ、小川公代、土屋和代
2. 発表標題 人間概念の揺らぎと「宗教」「世俗」のゆくえ
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスにおけるカトリック的宗教社会学の盛衰とケベックにおける宗教学の「誕生」
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 鶴見俊輔における宗教　はみだしの技法
3. 学会等名 東京大学藝文書院・立命館大学加藤周一現代思想研究センター共催イベント「日本の知識人、その宗教と周辺　鶴見俊輔・加藤周一・林達夫」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 「ポスト世俗」時代における「無宗教」関連概念の分節化と「西洋」の地域的特性
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 神秘的経験の系譜学に向けて 新たな神秘主義理解のために
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 第四の人、あるいは？ イエズス会士セルトーと危機の時代の教会論
3. 学会等名 科学研究費補助金（基盤A）「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 学際的比較研究」（研究代表者：伊達聖伸）A班第7回研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 宗教概念批判以降の神秘主義研究あるいは霊性史研究の可能性 ミシェル・フーコーの主体性論と霊性(スピリチュアリテ)論からの展望
3. 学会等名 龍谷大学国際社会文化研究所「宗教概念批判以降の宗教研究に基づく人間性の探究」プロジェクト研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 オルタナティブ教育の場としてのイスラーム学校 日本とヨーロッパにおける動向から
3. 学会等名 日仏会館主催シンポジウム「日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Kirche als Stimme in der Gesellschaft__Deutschland und Japan
3. 学会等名 Seminar "Kirche als Minderheit ", Theologische Fakultät, Universität Leipzig (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 KIMURA Goro Christoph
2. 発表標題 Die deutsche Energiewende: ethisches Vorbild oder romantischer Sonderweg?
3. 学会等名 Evangelische Akademie Abt Jerusalem, Braunschweig (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 WATANABE Chiaki
2. 発表標題 Activities of religious minority Catholic students in Japan at the time of Vatican II
3. 学会等名 EUARE 2022 (European Academy of Religion) (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊千秋
2. 発表標題 カトリック国際学生組織「ボックス・ロマーナ」の歩み
3. 学会等名 「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 - 学際的比較研究」A班研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 The UK-South Africa Security Relationship in the Era of Apartheid
3. 学会等名 Human Rights Colloquium: A HSP Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 ポスト・ブレグジットのイギリス政治外交 「脱地域統合」の可能性と限界
3. 学会等名 2022年度日本政治学会総会・研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 ダニエル・マニックスと脱植民地化、世界大戦、冷戦の中のカトリック教会
3. 学会等名 西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 学際的比較研究」A班第8回研究会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 社会主義期ポーランドにおける人間形成 「宗教」と「世俗」のはざままで
3. 学会等名 東欧史研究会・小シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 ポーランドにおける価値の政治：人工妊娠中絶の政治争点化を中心に
3. 学会等名 日本政治学会 2022年度研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 加藤久子
2. 発表標題 戦場化するウクライナと東欧社会
3. 学会等名 大和大学社会学部・緊急公開シンポジウム「いま、ウクライナ情勢を考える」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 ポスト世俗化時代の社会統合研究――女性ムスリム、エージェンシー、アイデンティティ
3. 学会等名 関西学院大学社会学部――研究会例会報告（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 日本人改宗者ムスリム女性とリベラルなイスラーム
3. 学会等名 日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 現代ムスリム女性の社会学ーオリエンタリズムに抗し、「公共」を創る
3. 学会等名 関西学院千里国際中等部・高等部「公共」（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 みんなで生きる
3. 学会等名 関西学院大学チャペルアワー講話（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 ポスト世俗化社会における女性ムスリムのスポーツ参加ーイギリスを事例として
3. 学会等名 基盤A「西洋社会における世俗の変容と『宗教的なもの』の再構成ー学際的比較研究」（B班研究会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 立田由紀恵
2. 発表標題 マイノリティ性とイスラーム アフリカ系アメリカ人とボスニア人の比較より
3. 学会等名 (科学研究会発表)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 性的マイノリティのムスリムを包摂 / 排除する空間: フランスにおける動向を中心に
3. 学会等名 科研基盤 (A) 「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成 - 学際的比較研究」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 地理学的視角を用いた移民排斥感情・運動の分析可能性
3. 学会等名 移民・マイノリティの地理学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 IAHRローマ大会におけるペッタッツォーニとヴァティカン
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ベッタツツォーニ宗教史学の起源と展開
3. 学会等名 宗教現象学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 近現代イタリアにおけるイスラーム
3. 学会等名 「西洋の世俗と宗教」研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 ファシズム期の宗教史学と人類学
3. 学会等名 国立民族学博物館共同研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MASUDA Kazuo
2. 発表標題 「人間の死」の変貌 - - 科学技術と人間主義的ナルシシズム
3. 学会等名 学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究A 西洋の世俗と宗教C班研究会報告
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 MASUDA Kazuo
2. 発表標題 Traduire ou adapter? Deux chantiers du Dictionnaire des faits religieux japonais et arabe -- Le cas japonais
3. 学会等名 Coloque international Cesor. Construire, deconstruire, reconstruire les sciences sociales. R_fl_chir les d_fis du religieux (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ラドクリフ『ユドルフォ城の怪奇』と医科学言説 死者から生者へ
3. 学会等名 日本オースティン協会第15回(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 オーウェルと想像力
3. 学会等名 ジョージ・オーウェル生誕120周年記念イベント「暗闇のなかの希望」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ケア文学の誕生 交差するケアと倫理と英文学
3. 学会等名 日本英文学会北海道支部 第67回大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kimiyo Ogawa
2. 発表標題 Jane Austen's Influence on Japanese Realist Novels
3. 学会等名 Jane Austen Summer Program (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ロシアの世俗倫理教育と無神論の動向
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班研究会_(2022/2/11)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 軍隊とロシア正教会
3. 学会等名 NIKORS/STREAM研究会 (2023/2/26) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 基礎から学ぶロシアの宗教 - 東方正教会の誕生からウクライナ戦争まで
3. 学会等名 第25回ユーラシア・セミナー (2022/10/13) (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか（ほか2名--乗松亨平・袴田玲）
2. 発表標題 ロシア・ウクライナ戦争と宗教・文化
3. 学会等名 NPO法人東京自由大学主催シンポジウム（2023/1/8）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 宗教から読み解くウクライナとロシアの歴史
3. 学会等名 清泉女子大学ラファエラ・アカデミア主催公開講座（2022/7/16）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 戦争とロシア正教会
3. 学会等名 東京神学大学講演会（2023/1/31）（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 荒木圭子、山田優理、藤永康政、高内悠貴、川島正樹、土屋和代（企画・司会）、山中美潮（企画・司会）
2. 発表標題 「黒人自由闘争」を再考する BLM運動からの視座
3. 学会等名 日本アメリカ史学会第19回年次大会シンポジウム
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 兼子歩、坂下史子、土屋和代
2. 発表標題 黒人女性史叙述の最前線 - ベリー & グロス著『アメリカ黒人女性史』の翻訳書刊行によせて
3. 学会等名 黒人研究学会例会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Inter-ethnic Relations in Late Imperial Russia Memorized: Pogroms as a Background of the Zionist Perception of Arab Riots/Uprisings in Palestine
3. 学会等名 54th Annual Convention, Association for Slavic, East European, and Eurasian Studies (ASEEES) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Carrying over of Memory: Pogroms in Ukraine during the Civil War and Riots/Uprising in Palestine in the 1920s
3. 学会等名 History from Below: Microhistorical Approaches to the History of East European Jewry, at Vilnius, Lithuania (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 TSURUMI Taro
2. 発表標題 Carrying over of Memory: Pogroms in Ukraine during the Civil War and Riots in Palestine in the 1920s
3. 学会等名 38th Annual Conference of the Association for Israel Studies (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 浜田華練
2. 発表標題 セルギウスから聖サルキスへ 12_世紀アルメニア教会における聖_伝の受容
3. 学会等名 第22回東方キリスト教学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 HAMADA Karen
2. 発表標題 An Armenian Manuscript in Japan
3. 学会等名 International conference “ Armenia-Japan: Past, Present and Perspectives of Future ”_(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 HAMADA Karen
2. 発表標題 Syriac Hagiographies ‘ Translated ’ by Nerses Shnorhali: Syro-Armenian Cultural Interactions and Development of Armenian Literature in the 12th Century
3. 学会等名 XIIIe_Symposium Syriacum et XIe Congres d'etudes arabes chretiennes (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 批判的人種理論に対するアメリカ宗教界の反応
3. 学会等名 日本宗教学会第81回
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカの無宗教を考える 新たな最大少数派（非）宗教集団
3. 学会等名 アメリカ学会第56回年次大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 「小国」論試論 近現代日本の「宗教」と「世俗」の観点から
3. 学会等名 GS1キャラバン「「小国」の経験から普遍を問いなおす」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスのライシテを世界史に向けて語る 日本の政教関係と日露戦争との同時代性に注目して
3. 学会等名 日仏文化講演シリーズ第342回（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 世俗主義（ライシテ）とジェンダー フランス語圏の議論から
3. 学会等名 日本宗教学会第79回
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 チャールズ・テイラーの宗教論とラインテ 静かな革命以降のケベックの文脈に注目して
3. 学会等名 日本ケベック学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 La loi du 9 decembre 1905 : heures et malheurs de la laicite a la francaise
3. 学会等名 L' Universite de Tours et l' Universite de Tokyo (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 A Small Nation Feigning to be Something Greater: the Dynamic Relation between the Secular and the Religious in Japan
3. 学会等名 GSI Caravan Project "Questioning the Idea of a "Small Nation" in East Asian Contexts (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 カタストロフの時代と『ヴェールを被ったアンティゴネー』
3. 学会等名 静岡大学翻訳文化研究会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 フランスの宗教と世俗の歴史におけるドゥブレ法の位置 問題点の整理のために
3. 学会等名 比較教育社会史研究会「宗教と世俗化」部会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 National Body of Modern Japan between the Religious and the Secular: From a Viewpoint of the Study on French Secularism (laicite)
3. 学会等名 International Society for the Sociology of Religion (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 西洋社会におけるイスラームをいかに叙述するか 近年のフランスにおける研究動向の紹介を中心に
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」B班第3回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 カトリック教会の性的スキャンダルと聖職者の独身制
3. 学会等名 科研基盤B「結婚の歴史再考」研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 現代フランス社会とカトリック聖職者による性暴力の問題
3. 学会等名 日本宗教学会第80回
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 ポスト世俗 / ポストヒューマンの宗教研究のために
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第4回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 ケベックの「静かな革命」はカサノヴァの公共宗教論で読み解けるか
3. 学会等名 東京大学藝文書院 / 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」共催研究会『近現代の公共宗教』再読
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 DATE Kiyonobu
2. 発表標題 Comparing small nations in different contexts: Quebec and Japan
3. 学会等名 GSI Caravan Project workshop. Small nations in Quebec and Asia: A Comparative Perspective
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 伊達聖伸
2. 発表標題 西洋におけるカトリック的近代の多様性と変貌 文化的再構成と脱文化化
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第4回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 ミシェル・ド・セルトーそして /あるいはポスト世俗主義の宗教論 探究の今日的可能性
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 神秘主義と愛知 世界哲学史と神秘主義研究の接点を求めて
3. 学会等名 東京大学東アジア藝文書院連続シンポジウム「世界哲学・世界哲学史を再考する」第4回「中世と近世のあわい」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡辺優
2. 発表標題 近現代西欧カトリックの危機と「神秘主義」あるいは「スピリチュアリティ」のゆくえ 世俗 / 宗教のあわいにごめくもの
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第4回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ライラ・アハメド『イスラームにおける女性とジェンダー 近代論争の歴史的根源』再読
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」B班第2回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 コロナ禍における西欧諸国のイスラームフォビア
3. 学会等名 「宗教と社会」学会 第29回学術大会テーマセッション「コロナ禍における宗教研究の課題と可能性」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 見原礼子
2. 発表標題 ポスト・グローバル化社会における異文化理解と日本の課題
3. 学会等名 BPW長崎クラブ主催オンライン講演会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木村護郎クリストフ
2. 発表標題 宗教は「環境問題」とどう向き合うか ドイツのキリスト教の事例から
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木村護郎クリストフ
2. 発表標題 コロナ禍/渦をどうとらえるか ドイツのキリスト教会の場合
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第4回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊千秋
2. 発表標題 フランコ独裁体制下のカトリック平信徒組織について
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 WATANABE, Chiaki
2. 発表標題 Impronta del catolicismo español en las misiones de Japon: Diego Pacheco Lopez de Morla SJ (1922-2008)"
3. 学会等名 I Congreso Internacional: Derechas, Historia y Memoria. Teor_a y Praxis de las Dictaduras en el Poder (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡邊千秋
2. 発表標題 20世紀におけるカトリック学生運動、日西比較の試み
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第5回研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西脇靖洋
2. 発表標題 ポルトガルにおける民主化とカトリック教会 アントニオ・リベイロの役割に注目して
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西脇靖洋
2. 発表標題 ポルトガル領アフリカ植民地戦争とカトリック教会
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第5回研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 イギリス帝国の脱植民地化と現代世界の形成 連邦国家と小国への分岐
3. 学会等名 GS1キャラバン「「小国」の経験から普遍を問いなおす」第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 アパルトヘイト体制と反アパルトヘイト運動における宗教的要因
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」A班第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 コモンウェルス（英連邦）とは何か ブレグジット後の世界で考える
3. 学会等名 時事トップセミナー（時事通信社ロンドン支局主催）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 戦後イギリスのヨーロッパ統合政策と帝国_コモンウェルス 「第三勢力」構想を中心に
3. 学会等名 CHIR-JAPAN（国際関係史学会）研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川浩之
2. 発表標題 イギリス帝国の遺産と現代国際関係 脱植民地化過程における連邦国家と小国への分岐
3. 学会等名 日本国際政治学会2021年度研究大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 The British Empire in History and Memory: Britain's Relations with Ireland and India in the Early Twentieth Century and the Present
3. 学会等名 5. Ostasiatische DAAD-Zentrenkonferenz（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 Small Nations and the Commonwealth: Canada, Quebec, Newfoundland and Saint-Pierre-et-Miquelon
3. 学会等名 Small Nations: Comparative Perspectives from Japan and Quebec (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 OGAWA Hiroyuki
2. 発表標題 The Empire-Commonwealth, European Integration, and Periodization in the History of Postwar British External Policy
3. 学会等名 British-East Asian Conference of Historians (BEACH) Workshop (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 ポスト9・11時代に生きるイギリスの若者ムスリム 「二重意識」を超越するアイデンティティ・モデル
3. 学会等名 「宗教と社会」学会第28回学術大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 「宗教的なもの」と「世俗的なもの」 『再帰的近代のアイデンティティ論』について
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」B班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 <知識>を通じた「欲望の創出」 イギリスの女性ムスリムのヒジャブ着用をめぐる契機の分析
3. 学会等名 第93回日本社会学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 現代社会と若者ムスリム 移民第二世代のアイデンティティ研究
3. 学会等名 第27回サテライト研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安達智史
2. 発表標題 再帰的近代における西洋とイスラーム 文明の衝突を超えて
3. 学会等名 名古屋多文化共生研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 TATTA Yukie
2. 発表標題 Imagining the Positive Future: How Bosnia May Restore the Peaceful Coexistence of Religions (Paper accepted, meeting canceled)
3. 学会等名 Society for the Scientific Study of Religion (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 TATTA Yukie
2. 発表標題 Oppressed Minorities and Protected Minorities: The Comparative Study of the Croats and the Jewish in Bosnia and Herzegovina (Paper accepted, meeting not attended due to the travel restriction)
3. 学会等名 Society for the Scientific Study of Religion (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 立田 由紀恵
2. 発表標題 アメリカ黒人の男性性とイスラーム
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」B班第3回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 江川純一
2. 発表標題 近現代イタリアの政教関係 ペッタッツォーニのイタリア共和国憲法批判を中心に
3. 学会等名 明学フォーラム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 ストラスブールにおける宗教間対話の展開とその地域的特性
3. 学会等名 日本宗教学会第79回
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 ストラスブールの「承認のライシテ」とイスラーム
3. 学会等名 日仏文化講演シリーズ第340回若手研究者セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 フランス・ストラスブールにおけるムスリムのための場所づくり　モスクと墓地の建設を中心に
3. 学会等名 移民の参加と排除に関する日仏研究会第32回（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 合同合評会 伊達聖伸編『ヨーロッパの世俗と宗教　近世から現代まで』（勁草書房、2020年）コメント
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」研究会・比較教育社会史研究会「宗教と世俗化部会」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤香寿実
2. 発表標題 フランスのライシテをめぐる現代的課題　イスラームとの関係に着目して
3. 学会等名 科研基盤B「欧米諸国の生命倫理に関する基本理念及び運用・制度の法学的、哲学・倫理的比較研究」第1回研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 増田一夫
2. 発表標題 土佐弘之『ポストヒューマニズムの政治』について
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 増田一夫
2. 発表標題 ローマ教会のエコロジー的転回？
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第2回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 増田一夫
2. 発表標題 自然 における 聖なるもの 人新世と宗教
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第4回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 無神論再考 ソ連解体後のロシアを事例として
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上まどか
2. 発表標題 ロシアにおけるカトリック イエズス会を中心に
3. 学会等名 北方精神研究会（第49回（2020年度）三菱財団人文科学研究助成「ロシア精神の源流としての北ロシア文化の領域横断的研究 - 文献学、歴史学、宗教学、民俗学の統合の試み」の研究会、代表者：三浦清美）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 解釈する記憶 ロシア帝国における暴力の記憶がパレスチナへ転移するとき
3. 学会等名 日本社会学会第94回大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 鶴見太郎
2. 発表標題 Reciprocity between Different Ethnic Aspects in the Self : Russian Jews and Dual Nationalism around the Revolution
3. 学会等名 Association for the Study of Nationalities World Convention, May 7, 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ステファン・コリーニをロマン主義的懐古の観点から読む
3. 学会等名 ワークショップ 文学批評の再検討 ステファン・コリーニ『懐古する想像力』をめぐって（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 女性作家たちの「存在論的転回」(シンポジウム「イギリスにおけるジェンダー論のルーツ」)
3. 学会等名 日本イギリス哲学会第45回総会・研究大会(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小川公代
2. 発表標題 ケアの倫理からみるフロイトとウルフ
3. 学会等名 小寺記念精神分析財団 第6回学際的ワークショップ「女性性/男性性」(招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカ合衆国の信教の自由に関する研究動向
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 アメリカの市民宗教論再考 キリスト教国論と白人至上主義から
3. 学会等名 日本宗教学会第80回学術大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 21世紀アメリカ宗教と「デノミネーションナリズム」
3. 学会等名 文庫化記念公開イベント『近代世界の公共宗教』再読（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤清子
2. 発表標題 研究動向 アメリカにおける無宗教
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第3回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 ブラック・ライヴズ・マター運動が問うもの 現代アメリカにおける刑罰国家／脱・福祉国家化
3. 学会等名 GSI キャラバン「小国」の経験から普遍を問いなおす」第2回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 生存権をめぐる闘い アメリカにおける福祉権運動と人種、階級、ジェンダー
3. 学会等名 科研基盤A「西洋の世俗と宗教」C班第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 ブラック・ライヴズ・マター運動と岐路に立つアメリカ社会 1992年ロスアンジェルス蜂起から考える
3. 学会等名 東京大学アメリカ太平洋地域研究センター（CPAS）公開シンポジウム「分断のアメリカを展望する」（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 ブラック・フェミニズムの歴史とインターセクショナリティ
3. 学会等名 同志社大学アメリカ研究所秋季公開講演会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 土屋和代
2. 発表標題 貧困とジェンダー 「公助」の役割を問う
3. 学会等名 ジェンダー史学会第18回年次大会シンポジウム
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計155件

1. 著者名 伊達聖伸, 渡辺優, 田中浩喜, 江川純一, 加藤久子, 渡部奈々, 西脇靖洋, 小川浩之, 渡邊千秋	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 カトリック的伝統の再構成	

1. 著者名 伊達聖伸, 見原礼子, 安達智史, 佐藤香寿実, 山下泰幸, 和田知之, 山本繭子, アレッサンドロ・フェラーリ, 立田由紀恵	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 322
3. 書名 イスラームの定着と葛藤	

1. 著者名 伊達聖伸, 木村護郎クリストフ, 小川公代, 土屋和代, 佐藤清子, 井上まどか, 鶴見太郎, 増田一夫	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 世俗の新展開と「人間」の変貌	

1. 著者名 伊達聖伸	4. 発行年 2024年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 321
3. 書名 もうひとつのライシテーケベックにおける間文化主義と宗教的なものの行方	

1. 著者名 宇野重規, 伊達聖伸, 山裕二, 長井伸仁, 永見瑞木, 片岡大右, 杉本隆司, 川上洋平, 中村督	4. 発行年 2024年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 332
3. 書名 フランス知と戦後日本ー対比思想史の試み	

1. 著者名 DATE Kiyonobu, LANIEL Jean-Francois, DORAIS Francois-Olivier, MITHIEU Felix, RIOUX X. Hubert, TANAKA Hiroki, HIRANO Katsuya, SAKIHAMA Sana, OGAWA Hiroyuki, CHEUNG Ching Yuen, TSUCHIYA Kazuyo, Tsurumi Taro, ABLOF Uriel	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 290
3. 書名 A New Approach to Global Studies from the Perspective of Small Nations	

1. 著者名 伊達聖伸, 増田一夫, ヴァレンティーン・ズュベール, 樋口直人, 店田廣文, オリヴィエ・ロワ, 藤原聖子, アブデヌール・ピダール, 安達智史, カトリーヌ・マイユール_ジャウアン, ジャン_ジャック・ティボン, フランチェスコ・キアボッティ, 見原礼子, フロランス・ベルジョ_ブラクレ, 小村明子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 298
3. 書名 フランスのイスラーム / 日本のイスラーム	

1. 著者名 矢頭典枝, 大石太郎, 伊達聖伸ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 368
3. 書名 ケベックを知るための56章	

1. 著者名 川本直, 櫻原辰郎, 武田将明, 伊達聖伸, 佐藤亜紀, 大野露井, 高遠弘美, 渡邊利道, 堀田隆大, 山_修平, 小川公代, 小山太一, 渡辺祐真, 浜崎洋介, 山中剛史, 中西恭子, 大塚健太郎, 磯崎純一, 富士川義之	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 552
3. 書名 吉田健一に就て	

1. 著者名 岸政彦, 稲場圭信, 丹野清人, 櫻井義秀, 伊達聖伸, 横井桃子, 坂井正斉, 高瀬頭功, 塩原良和, 高谷幸, 定松文, 高畑幸, 鍛冶致, 人見泰弘	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 278
3. 書名 岩波講座社会学第3巻 宗教・エスニシティ	

1. 著者名 ジャック・ラクルシエール, 小倉和子, 小松祐子, 古地順一郎, 伊達聖伸, 矢内琴江	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 242
3. 書名 ケベックの歴史	

1. 著者名 伊達聖伸(編)、増田一夫, ヴァレンティーヌ・ズベール, 樋口直人, 店田廣文, オリヴィエ・ロフ, 藤原聖子, アブデヌール・ピダール, 安達智史, カトリーヌ・マイユール_ジャウアン, ジャン_ジャック・ティボン+フランチェスコ・キアボッティ, 見原礼子, フロランス・ベルジョ_ブラクレ, 小村明子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 298
3. 書名 『フランスのイスラーム / 日本のイスラーム』	

1. 著者名 中田麗子, 佐藤裕紀, 本所恵, 林寛平, 北欧教育研究会(編), 見原礼子, 市川桂, 井上瑞菜, 上田星, 太田美幸, 坂口緑, 澤野由紀子, 田平修, 田中潤子, 針貝有佳, 長谷川紀子, 原田亜紀子, 松田弥花, 松林杏樹, 矢田明恵, 矢田匠, 山辺恵理子, 山本みゆ紀, 渡邊あや	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 『北欧の教育再発見 ウェルビーイングのための子育てと学び』	

1. 著者名 秋尾 生、吉田浩美、石塚秀雄、上田寿美、内田瑞子、オルティゴース、ガリ、梶田純子、金子奈美、砂山充子、竹谷和之、友常 勉、渡邊千秋	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 408
3. 書名 現代バスクを知るための60章【第2版】	

1. 著者名 伊達聖伸、渡辺優、田中浩喜、江川純一、加藤久子、渡部奈々、西脇靖洋、小川浩之、渡邊千秋	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 カトリック的伝統の再構成	

1. 著者名 益田実、齋藤嘉臣、橋口豊、鳥潟優子、小川浩之、三宅康之、池田亮、青野利彦、妹尾哲志、山本健、三須拓也、細田晴子、清水聡	4. 発行年 2024年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 420
3. 書名 冷戦史 超大国米ソの出現からソ連崩壊まで	

1. 著者名 細谷雄一、東野篤子、鶴岡路人、岡部みどり、小川浩之、宮下雄一郎、板橋拓己、廣瀬陽子、合六強、広瀬佳一	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 152
3. 書名 ウクライナ戦争とヨーロッパ	

1. 著者名 伊達聖伸, 渡辺優, 田中浩喜, 江川純一, 加藤久子, 渡部奈々, 西脇靖洋, 小川浩之, 渡邊千秋	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 カトリック的伝統の再構成	

1. 著者名 川田牧人, 松田素二, 加藤久子 ほか79名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 454
3. 書名 世界の冠婚葬祭事典	

1. 著者名 エリック・シャープ、久保田浩・シュルーター智子・江川純一	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 596
3. 書名 比較宗教学 ひとつの歴史 / 物語	

1. 著者名 レベッカ・ソルニット, 井上利男, 東辻賢治郎, 小川公代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 暗闇のなかの希望 増補改訂版 語られない歴史、手つかずの可能性	

1. 著者名 ジェニー・オデル, 竹内要江, 小川公代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 早川書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 何もしない	

1. 著者名 横道誠、斎藤環、小川公代、頭木弘樹、村上靖彦	4. 発行年 2024年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 ケアする対話	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 世界文学をケアで読み解く	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2024年
2. 出版社 松柏社	5. 総ページ数 240
3. 書名 ゴシックと身体 想像力と解放の英文学	

1. 著者名 マイケル・ブロンスキー著, 兼子歩, 坂下史子, 内悠貴, 土屋和代訳	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 368
3. 書名 クィアナアメリカ史 再解釈のアメリカ史・2	

1. 著者名 黛秋津, 三浦清美, 小山哲, 青島陽子, 村田優樹, 鶴見太郎, 池田嘉郎, 浜由樹子, 高橋沙奈美, 松里公孝, 山添博史	4. 発行年 2023年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 320
3. 書名 講義 ウクライナの歴史	

1. 著者名 Claudia Rapp, Emilio Bonfiglio, Bernard Coulie, Robin Meyer, Theo Maarten van Lint, Emmanuel van Elverdinghe, Johannes Preiser-Kapeller, David Zakarian, Mark Roosien, Karen Hamada, Alexandra-Kyriaki Wassiliou-Seibt and Gert Boersema, Werner Seibt	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 344
3. 書名 "Old Issues in the New Regime: The Revival of Religious Controversies Between Byzantines and Armenians after the Fall of the Bagratid Kingdom" in Emilio Bonfiglio and Claudia Rapp (eds.), Armenia and Byzantium without Borders: Mobility, Interactions, Responses	

1. 著者名 佐藤清子	4. 発行年 2024年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 255
3. 書名 宗教の自由と不寛容のアメリカ史 一九世紀の反カトリックとプロテスタント	

1. 著者名 伊達聖伸, 渡辺優, 田中浩喜, 江川純一, 加藤久子, 渡部奈々, 西脇靖洋, 小川浩之, 渡邊千秋	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 カトリック的伝統の再構成	

1. 著者名 伊達聖伸, 見原礼子, 安達智史, 佐藤香寿実, 山下泰幸, 和田知之, 山本繭子, アレッサンドロ・フェラーリ, 立田由紀恵	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 322
3. 書名 イスラームの定着と葛藤	

1. 著者名 伊達聖伸, 木村護郎クリストフ, 小川公代, 土屋和代, 佐藤清子, 井上まどか, 鶴見太郎, 増田一夫"	4. 発行年 2024年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 世俗の新展開と「人間」の変貌	

1. 著者名 伊達聖伸	4. 発行年 2024年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 321
3. 書名 もうひとつのライシテーケベックにおける間文化主義と宗教的なものの行方	

1. 著者名 宇野重規, 伊達聖伸, 高山裕二, 長井伸仁, 永見瑞木, 片岡大右, 杉本隆司, 川上洋平, 中村督	4. 発行年 2024年
2. 出版社 白水社	5. 総ページ数 332
3. 書名 フランス知と戦後日本ー対比思想史の試み	

1. 著者名 DATE Kiyonobu, LANIEL Jean-Francois, DORAIS Francois-Olivier, MITHIEU Felix, RIOUX X. Hubert, TANAKA Hiroki, HIRANO Katsuya, SAKIHAMA Sana, OGAWA Hiroyuki, CHEUNG Ching Yuen, TSUCHIYA Kazuyo, Tsurumi Taro, ABLOF Uriel	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 290
3. 書名 A New Approach to Global Studies from the Perspective of Small Nations	

1. 著者名 伊達聖伸, 増田一夫, ヴァレンティーヌ・ズベール, 樋口直人, 店田廣文, オリヴィエ・ロワ, 藤原聖子, アブデヌール・ピダール, 安達智史, カトリーヌ・マイユールジャウアン, ジャンジャック・ティボン, フランチェスコ・キアボッティ, 見原礼子, フロランス・ベルジョブラクレ, 小村明子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 298
3. 書名 フランスのイスラーム / 日本のイスラーム	

1. 著者名 矢頭典枝, 大石太郎, 伊達聖伸ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 368
3. 書名 ケベックを知るための56章	

1. 著者名 "川本直, 樫原辰郎, 武田将明, 伊達聖伸, 佐藤亜紀, 大野露井, 高遠弘美, 渡邊利道, 堀田隆大, 山崎修平, 小川公代, 小山太一, 渡辺祐真, 浜崎洋介, 山中剛史, 中西恭子, 大塚健太郎, 磯崎純一, 富士川義之"	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 552
3. 書名 吉田健一に就て	

1. 著者名 岸政彦, 稲場圭信, 丹野清人, 櫻井義秀, 伊達聖伸, 横井桃子, 坂井正斉, 高瀬顕功, 塩原良和, 高谷幸, 定松文, 高畑幸, 鍛冶致, 人見泰弘	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 278
3. 書名 岩波講座社会学第3巻 宗教・エスニシティ	

1. 著者名 伊達聖伸、藤岡俊博、谷垣真理子、矢口祐人、キハラハント愛、佐藤安信、外村大、藏本龍介、黛秋津、早川英明、園部裕子、和田毅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 201
3. 書名 「暴力」から読み解く現代世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 泉邦寿、中村雅治、高橋暁生、南館英孝、原田早苗、田中幸子、福崎裕子、シモン・テュシェ、佐野彩、シモン・サルブラン、船岡美穂子、エルヴェ・クーショ、牧陽子、伊達聖伸、ブリウー・モンフォール、小島真智子、岩崎えり奈、石澤良昭	4. 発行年 2023年
2. 出版社 上智大学外国語学部フランス語学科	5. 総ページ数 248
3. 書名 地域研究のすすめ フランス語圏編	

1. 著者名 八木久美子、阿部尚史、久志本裕子、澤井允生、澤江史子、山根聡、鎌田由美子、苅谷康太、後藤絵美、島田志津夫、深見奈緒子編、見原礼子ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 714
3. 書名 イスラーム文化事典	

1. 著者名 長沢栄治、岡真理、後藤絵美、鷹木恵子、松尾有里子、服部美奈、山_和美、藤元優子、鈴木珠里、松永典子、山口みどり、千代崎未央、野中葉、酒井啓子、新郷啓子、中島由佳利、帯谷知可、高橋圭、松本ますみ、須永恵美子、見原礼子、木原悠、岡井宏文	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 296
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ5 記憶と記録にみる女性たちと百年_	

1. 著者名 日下部達哉。中島悠介、服部美奈、河野明日香、清水貴夫、黒川智恵美、見原礼子、丸山英樹	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 200
3. 書名 イスラーム教育改革の国際比較	

1. 著者名 伊達聖伸、藤岡俊博、谷垣真理子、矢口祐人、キハラハント愛、佐藤安信、外村大、藏本龍介、黛秋津、早川英明、園部裕子、和田毅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 201
3. 書名 「暴力」から読み解く現代世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 中田麗子、佐藤裕紀、本所恵、林寛平、北欧教育研究会(編)、見原礼子、市川桂、井上瑞菜、上田星、太田美幸、坂口緑、澤野由紀子、田平修、田中潤子、針貝有佳、長谷川紀子、原田亜紀子、松田弥花、松林杏樹、矢田明恵、矢田匠、山辺恵理子、山本みゆ紀、渡邊あや	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 北欧の教育再発見 ウェルビーイングのための子育てと学び	

1. 著者名 竹本修三、木村護郎クリストフ	4. 発行年 2022年
2. 出版社 新教出版社	5. 総ページ数 186
3. 書名 脱原発の必然性とエネルギー転換の可能性 地震国日本の現実とドイツの先例から考える	

1. 著者名 中野智世、前田更子、渡邊千秋、尾崎修治、勝田俊輔、渡邊昭子、長井伸仁、芦部彰、寺戸淳子、村上信一郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 324
3. 書名 『カトリシズムと生活世界 信仰のヨーロッパ史』	

1. 著者名 萩尾 生、吉田浩美、石塚秀雄、上田寿美、内田瑞子、オルティゴース、ガリ、梶田純子、金子奈美、砂山充子、竹谷和之、友常 勉、渡邊千秋	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 408
3. 書名 現代バスクを知るための60章【第2版】	

1. 著者名 益田実、齋藤嘉臣、橋口豊、鳥潟優子、小川浩之、三宅康之、池田亮、青野利彦、妹尾哲志、山本健、三須拓也、細田晴子、清水聡	4. 発行年 2024年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 420
3. 書名 冷戦史 超大国米ソの出現からソ連崩壊まで	

1. 著者名 益田実、齋藤嘉臣、三宅康之、妹尾哲志、橋口豊、青野利彦、山本健、鳥潟優子、三須拓也、池田亮、清水聡、細田晴子、芝崎祐典、小川浩之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 338
3. 書名 デタントから新冷戦へ グローバル化する世界と揺らぐ国際秩序	

1. 著者名 細谷雄一、東野篤子、鶴岡路人、岡部みどり、小川浩之、宮下雄一郎、板橋拓己、廣瀬陽子、合六強、広瀬佳一	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 152
3. 書名 ウクライナ戦争とヨーロッパ	

1. 著者名 葛谷彩、阿曾沼春菜、春名展生、宮下豊、西村邦行、劉仙姫、板橋拓己、小川浩之、小窪千早、森田吉彦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 280
3. 書名 国際関係の系譜学 外交・思想・理論	

1. 著者名 岡本隆司、飯田洋介、後藤春美、小川浩之、山川志保、津野田興一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 201
3. 書名 いまを知る、現代を考える 山川歴史講座 国際平和を歴史的に考える	

1. 著者名 遠藤乾、高島亜紗子、鶴岡路人、合六強、東野篤子、板橋拓己、宮下雄一郎、小川浩之、太田瑞希子、佐藤智恵、市川顕、宮井健志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 日本国際問題研究所	5. 総ページ数 167
3. 書名 戦禍のヨーロッパ 日欧関係はどうあるべきか	

1. 著者名 川田牧人, 松田素二, 加藤久子 ほか79名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 454
3. 書名 世界の冠婚葬祭事典	

1. 著者名 八木久美子、阿部尚史、久志本裕子、澤井允生、澤江史子、山根聡、鎌田由美子、苅谷康太、後藤絵美、島田志津夫、深見奈緒子編、見原礼子、安達智史ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 748
3. 書名 『イスラーム文化事典』	

1. 著者名 ADACHI Satoshi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Trans Pacific Press	5. 総ページ数 375
3. 書名 Muslim and British in post-9/11	

1. 著者名 佐藤香寿実	4. 発行年 2023年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 405
3. 書名 承認のライシテとムスリムの場所づくり 「辺境の街」ストラスブールの実践	

1. 著者名 エリック・シャープ、久保田浩・シュルーター智子・江川純一	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 596
3. 書名 比較宗教学 ひとつの歴史 / 物語	

1. 著者名 R. R. マレット、J. G. フレイザー、W. ロバートソン・スミス、R. H. コドリントン、江川純一、山崎亮、佐々木雄大、比留間亮平、藤井修平、金瞬	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 488
3. 書名 マナ・タブー・供犠 英国初期人類学宗教論集	

1. 著者名 横道誠、斎藤環、小川公代、頭木弘樹、村上靖彦	4. 発行年 2024年
2. 出版社 金剛出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 ケアする対話	

1. 著者名 横道誠、青山誠、村中直人、すぷりんと、柏淳、内藤えん、繁延あづさ、志岐靖彦、汐見稔幸、小川公代	4. 発行年 2024年
2. 出版社 北大路書房	5. 総ページ数 312
3. 書名 ニューロマイノリティ 発達障害の子どもを内側から理解する	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2022年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 280
3. 書名 ケアする惑星	

1. 著者名 小川公代、斎藤幸平、栗原康、高橋源一郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 147
3. 書名 別冊NHK100分de名著 パンデミックを超えて (教養・文化シリーズ)	

1. 著者名 小川公代、吉野由利、河野哲也、森田直子、大河内昌、犬塚元、井上櫻子、川津雅江、土井良子、原田範行、大石和欣	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 308
3. 書名 感受性とジェンダー 共感 の文化と近現代ヨーロッパ	

1. 著者名 日本18世紀学会 啓蒙思想の百科事典編集委員会	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 714
3. 書名 啓蒙思想の百科事典	

1. 著者名 レベッカ・ソルニット、井上利男（訳）、東辻賢治郎（訳）、小川公代（解説）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 暗闇のなかの希望 増補改訂版 語られない歴史、手つかずの可能性	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 世界文学をケアで読み解く	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2024年
2. 出版社 松柏社	5. 総ページ数 240
3. 書名 ゴシックと身体 想像力と解放の英文学	

1. 著者名 和泉真澄、坂下史子、土屋和代、三牧聖子、吉原真里	4. 発行年 2022年
2. 出版社 集英社新書	5. 総ページ数 286
3. 書名 私たちが声を上げるとき アメリカを変えた10の問い	

1. 著者名 村田勝幸、松原宏之、三牧聖子、鈴木透、藤永康政、南川文里、高内悠貴、庄司香、野村奈央、佐久間由梨、土屋和代、佐藤清子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 291
3. 書名 「いま」を考えるアメリカ史	

1. 著者名 ダイナ・レイミー・ベリー、カリ・ニコール・グロス、兼子歩、坂下史子、土屋和代	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 361
3. 書名 アメリカ黒人女性史 再解釈のアメリカ史・1	

1. 著者名 マイケル・ブロンスキー、兼子歩、坂下史子、高内悠貴、土屋和代	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 368
3. 書名 クィアなアメリカ史 再解釈のアメリカ史・2	

1. 著者名 Yasuko Takezawa, Akio Tanabe, Katsuya Hirano, Hiroshi Sekiguchi, Yu Tokunaga, Takeshi Onimaru, Ryuichi Narita, Crystal Uchino, Kazuyo Tsuchiya_	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 279
3. 書名 Race and Migration in the Transpacific	

1. 著者名 黛秋津, 三浦清美, 小山哲, 青島陽子, 村田優樹, 鶴見太郎, 池田嘉郎, 浜由樹子, 高橋沙奈美, 松里公孝, 山添博史	4. 発行年 2023年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 320
3. 書名 講義 ウクライナの歴史	

1. 著者名 朝倉友海, 星野 太, 鶴見太郎, 中島 隆博, 王 欽、林 少陽, 張 政遠, 金 杭、太田 邦史, 佐藤 麻貴, ミハエル ハチウス, 石井 剛	4. 発行年 2022年
2. 出版社 トランスビュー	5. 総ページ数 368
3. 書名 私たちは世界の「悪」にどう立ち向かうか	

1. 著者名 Claudia Rapp, Emilio Bonfiglio, Bernard Coulie, Robin Meyer, Theo Maarten van Lint, Emmanuel van Elverdinghe, Johannes Preiser-Kapeller, David Zakarian, Mark Roosien, Karen Hamada, Alexandra-Kyriaki Wassiliou-Seibt and Gert Boersema, Werner Seibt	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 344
3. 書名 "Old Issues in the New Regime: The Revival of Religious Controversies Between Byzantines and Armenians after the Fall of the Bagratid Kingdom" in Emilio Bonfiglio and Claudia Rapp (eds.), Armenia and Byzantium without Borders: Mobility, Interactions, Responses	

1. 著者名 森安達也, 浜田華練	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 東方キリスト教の世界	

1. 著者名 佐藤清子	4. 発行年 2024年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 344
3. 書名 宗教の自由と不寛容のアメリカ史 一九世紀の反カトリックとプロテスタント	

1. 著者名 遠藤泰生、小田悠生、野口久美子、森丈夫、鰐淵秀一、橋川健竜、久田由佳子、中野耕太郎、佐藤千登勢、服部雅子、川島正樹、上英明、大津留智恵子、増井志津代、山中美潮、笠井俊和、平井康大、杉山直子、小林剛、小檜山ルイ、荒木純子、宇沢美子、廣部泉、小塩和人、縮美貴子、竹内愛子、佐原彩子、荒このみ、佐藤清子、上岡伸雄	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 345
3. 書名 はじめて学ぶアメリカの歴史と文化	

1. 著者名 村田勝幸、松原宏之、三牧聖子、鈴木透、藤永康政、南川文里、高内悠貴、庄司香、野村奈央、佐久間由梨、土屋和代、佐藤清子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 282
3. 書名 「いま」を考えるアメリカ史	

1. 著者名 伊達聖伸、藤岡俊博、谷垣真理子、矢口祐人、キハラハント愛、佐藤安信、外村大、藏本龍介、黛秋津、早川英明、園部裕子、和田毅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 201
3. 書名 「暴力」から読み解く現代世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 泉邦寿、中村雅治、高橋暁生、南館英孝、原田早苗、田中幸子、福崎裕子、シモン・テュシェ、佐野彩、シモン・サルブラン、船岡美穂子、エルヴェ・クーショ、牧陽子、伊達聖伸、ブリウー・モンフォール、小島真智子、岩崎えり奈、石澤良昭	4. 発行年 2023年
2. 出版社 上智大学外国語学部フランス語学科	5. 総ページ数 248
3. 書名 地域研究のすすめ フランス語圏編	

1. 著者名 八木久美子、阿部尚史、久志本裕子、澤井允生、澤江史子、山根聡、鎌田由美子、苅谷康太、後藤絵美、島田志津夫、深見奈緒子編、見原礼子ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 714
3. 書名 イスラーム文化事典	

1. 著者名 長沢栄治、岡真理、後藤絵美、鷹木恵子、松尾有里子、服部美奈、山 和美、藤元優子、鈴木珠里、松永典子、山口みどり、千代崎未央、野中葉、酒井啓子、新郷啓子、中島由佳利、帯谷知可、高橋圭、松本ますみ、須永恵美子、見原礼子、木原悠、岡井宏文	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 296
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ5 記憶と記録にみる女性たちと百年_	

1. 著者名 日下部達哉。中島悠介、服部美奈、河野明日香、清水貴夫、黒川智恵美、見原礼子、丸山英樹	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 200
3. 書名 イスラーム教育改革の国際比較	

1. 著者名 伊達聖伸、藤岡俊博、谷垣真理子、矢口祐人、キハラハント愛、佐藤安信、外村大、藏本龍介、黛秋津、早川英明、園部裕子、和田毅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 201
3. 書名 「暴力」から読み解く現代世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 竹本修三、木村護郎クリストフ	4. 発行年 2022年
2. 出版社 新教出版社	5. 総ページ数 186
3. 書名 脱原発の必然性とエネルギー転換の可能性 地震国日本の現実とドイツの先例から考える	

1. 著者名 中野智世、前田更子、渡邊千秋、尾崎修治、勝田俊輔、渡邊昭子、長井伸仁、芦部彰、寺戸淳子、村上信一郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 324
3. 書名 『カトリシズムと生活世界 信仰のヨーロッパ史』	

1. 著者名 益田実、齋藤嘉臣、三宅康之、妹尾哲志、橋口豊、青野利彦、山本健、鳥潟優子、三須拓也、池田亮、清水聡、細田晴子、芝崎祐典、小川浩之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 338
3. 書名 デタントから新冷戦へ グローバル化する世界と揺らぐ国際秩序	

1. 著者名 葛谷彩、阿曾沼春菜、春名展生、宮下豊、西村邦行、劉仙姫、板橋拓己、小川浩之、小窪千早、森田吉彦	4. 発行年 2022年
2. 出版社 晃洋書房	5. 総ページ数 280
3. 書名 国際関係の系譜学 外交・思想・理論	

1. 著者名 岡本隆司、飯田洋介、後藤春美、小川浩之、山川志保、津野田興一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 201
3. 書名 いまを知る、現代を考える 山川歴史講座 国際平和を歴史的に考える	

1. 著者名 遠藤乾、高島亜紗子、鶴岡路人、合六強、東野篤子、板橋拓己、宮下雄一郎、小川浩之、太田瑞希子、佐藤智恵、市川顕、宮井健志	4. 発行年 2023年
2. 出版社 日本国際問題研究所	5. 総ページ数 167
3. 書名 戦禍のヨーロッパ 日欧関係はどうあるべきか	

1. 著者名 八木久美子、阿部尚史、久志本裕子、澤井允生、澤江史子、山根聡、鎌田由美子、苅谷康太、後藤絵美、島田志津夫、深見奈緒子編、見原礼子、安達智史ほか	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 748
3. 書名 『イスラーム文化事典』	

1. 著者名 ADACHI Satoshi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Trans Pacific Press	5. 総ページ数 375
3. 書名 Muslim and British in post-9/11	

1. 著者名 佐藤香寿実	4. 発行年 2023年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 405
3. 書名 承認のライシテとムスリムの場所づくり 「辺境の街」ストラスブールの実践	

1. 著者名 R. R. マレット、J. G. フレイザー、W. ロバートソン・スミス、R. H. コドリントン、江川純一、山崎亮、佐々木雄大、比留間亮平、藤井修平、金瞬	4. 発行年 2023年
2. 出版社 国書刊行会	5. 総ページ数 488
3. 書名 マナ・タブー・供犠 英国初期人類学宗教論集	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2022年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 280
3. 書名 ケアする惑星	

1. 著者名 小川公代、斎藤幸平、栗原康、高橋源一郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 147
3. 書名 別冊NHK100分de名著 パンデミックを超えて (教養・文化シリーズ)	

1. 著者名 小川公代、吉野由利、河野哲也、森田直子、大河内昌、犬塚元、井上櫻子、川津雅江、土井良子、原田範行、大石和欣	4. 発行年 2023年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 308
3. 書名 感受性とジェンダー 共感 の文化と近現代ヨーロッパ	

1. 著者名 日本18世紀学会 啓蒙思想の百科事典編集委員会	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 714
3. 書名 啓蒙思想の百科事典	

1. 著者名 レベッカ・ソルニット、井上利男（訳）、東辻賢治郎（訳）、小川公代（解説）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 暗闇のなかの希望 増補改訂版 語られない歴史、手つかずの可能性	

1. 著者名 和泉真澄、坂下史子、土屋和代、三牧聖子、吉原真里	4. 発行年 2022年
2. 出版社 集英社新書	5. 総ページ数 286
3. 書名 私たちが声を上げるとき アメリカを変えた10の問い	

1. 著者名 村田勝幸、松原宏之、三牧聖子、鈴木透、藤永康政、南川文里、高内悠貴、庄司香、野村奈央、佐久間由梨、土屋和代、佐藤清子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 291
3. 書名 「いま」を考えるアメリカ史	

1. 著者名 ダイナ・レイミー・ベリー、カリ・ニコール・グロス、兼子歩、坂下史子、土屋和代	4. 発行年 2022年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 361
3. 書名 アメリカ黒人女性史 再解釈のアメリカ史・1	

1. 著者名 Yasuko Takezawa, Akio Tanabe, Katsuya Hirano, Hiroshi Sekiguchi, Yu Tokunaga, Takeshi Onimaru, Ryuichi Narita, Crystal Uchino, Kazuyo Tsuchiya_	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 279
3. 書名 Race and Migration in the Transpacific	

1. 著者名 伊達聖伸、藤岡俊博、谷垣真理子、矢口祐人、キハラハント愛、佐藤安信、外村大、藏本龍介、黛秋津、早川英明、園部裕子、和田毅	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 201
3. 書名 「暴力」から読み解く現代世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 朝倉友海、星野 太、鶴見太郎、中島 隆博、王 欽、林 少陽、張 政遠、金 杭、太田 邦史、佐藤 麻貴、ミハエル ハチウス、石井 剛	4. 発行年 2022年
2. 出版社 トランスビュー	5. 総ページ数 368
3. 書名 私たちは世界の「悪」にどう立ち向かうか	

1. 著者名 森安達也、浜田華練	4. 発行年 2022年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 416
3. 書名 東方キリスト教の世界	

1. 著者名 島園進、中野昌宏、中野毅、伊達聖伸、佐藤清子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 242
3. 書名 政治と宗教 統一教会問題と危機に直面する公共空間	

1. 著者名 遠藤泰生、小田悠生、野口久美子、森丈夫、鰐淵秀一、橋川健竜、久田由佳子、中野耕太郎、佐藤千登勢、服部雅子、川島正樹、上英明、大津留智恵子、増井志津代、山中美潮、笠井俊和、平井康大、杉山直子、小林剛、小檜山ルイ、荒木純子、宇沢美子、廣部泉、小塩和人、縮美貴子、竹内愛子、佐原彩子、荒このみ、佐藤清子、上岡伸雄	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 345
3. 書名 はじめて学ぶアメリカの歴史と文化	

1. 著者名 村田勝幸、松原宏之、三牧聖子、鈴木透、藤永康政、南川文里、高内悠貴、庄司香、野村奈央、佐久間由梨、土屋和代、佐藤清子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 282
3. 書名 「いま」を考えるアメリカ史	

1. 著者名 伊達聖伸、井上まどか、内村俊太、江川順一、岡本亮輔、小川公代、加藤久子、木村護郎クリストフ、クラウタウ・オリオン、立田由紀恵、西脇靖洋、増田一夫、見原礼子、諸岡了介、白尾安紗美	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 ヨーロッパの世俗と宗教ー近世から現代まで	

1. 著者名 伊藤邦武、山内志朗、中島隆博、納富信留、津崎良典、井川善次、佐藤紀子、志田泰盛、野元晋、頼住光子、乗松享平、岡田温司、永井晋、藤原辰史、伊達聖伸、島村一平、神島裕子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ちくま新書	5. 総ページ数 396
3. 書名 世界哲学史 別巻 未来をひらく	

1. 著者名 David Koussens, Jean-Francois Laniel, Jean-Philippe Perreault, Valerie Amiraux, Jean Bauberot, Lori G. Beaman, Reginald W. Bibby, Kevin J. Christiano, Kiyonobu Date, Mireille Estivalezes, Solange Lefebvre, Robert Mager, E.-Martin Meunier	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Presses de l'Universite Laval	5. 総ページ数 677
3. 書名 Etudier la religion au Quebec : Regards d'ici et d'ailleurs	

1. 著者名 ジャン・ボペロ、ラファエル・リオジエ、伊達聖伸、田中浩喜	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 288
3. 書名 聖なる 医療—フランスにおける病院のライシテ	

1. 著者名 ラファエル・リオジエ、伊達聖伸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 178
3. 書名 男性性の探究	

1. 著者名 田辺明生、中島隆博、武田将明、羽田正、四本裕子、張政遠、橋本英樹、伊達聖伸、石井剛、王欽、國分功一郎、熊谷晋一郎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 トランスビュー	5. 総ページ数 360
3. 書名 私たちはどのような世界を想像すべきか	

1. 著者名 秦邦生、マーガレット・アトウッド、西あゆみ、星野真志、中村麻美、郷原佳以、小川公代、川端康雄、渡辺愛子、小田島創志、村峰生、加藤めぐみ、伊達聖伸、吉田恭子、高橋和久	4. 発行年 2021年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 314
3. 書名 ジョージ・オーウェル『一九八四年』を読む	

1. 著者名 藤山知彦、吉川弘之、黒田昌裕、隠岐さや香、瀧一郎、宇野重規、水島治郎、湯淺壘道、西田亮介、堂目卓生、吉川洋、松元崇、古川安、_島次郎、中島秀之、伊達聖伸、竹村牧男、沖大幹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 384
3. 書名 規範としての民主主義・市場原理・科学技術 現代のリベラルアーツを考える	

1. 著者名 カトリーヌ・マラブー、ジャン=リュック・ナンシー、キャサリン・ヘイルズ、エマヌエーレ・コッチャ、ミシェル・ドゥギー、ブルース・キャンベル、ジャン=ルイ・シュレーゲル、フレデリック・ケック、西山雄二、伊藤潤一郎、清水知子、宮_裕助、大貴俊夫、伊達聖伸、小林徹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 336
3. 書名 いま言葉で息をするためにーウイルス時代の人文知	

1. 著者名 小川公代、吉村和明、沼野充義、渋谷哲也、森田直子、新井潤美、南谷奉良、秦邦生、伊達聖伸、野崎 歓、眞鍋正紀、堤康徳、阿部賢一、奥彩子、ジョン・ウィリアムズ、鴻巣友季子、前川知大	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 520
3. 書名 文学とアダプテーションII ヨーロッパの古典を読む	

1. 著者名 伊達聖伸、アブデヌール・ビダール、鶴飼哲、中田考、鶴岡賀雄、安藤礼二、渡辺優、白尾安紗美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 296
3. 書名 世俗の彼方のスピリチュアリティ	

1. 著者名 島園進、奥山倫明、伊達聖伸、氣多雅子、石川明人、嶺崎寛子、杉木恒彦、富澤かな、鈴木健郎	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 328
3. 書名 いまを生きるための宗教学	

1. 著者名 國分功一郎、西崎文子、石田淳、大石和欣、高橋哲哉、池内恵、有田伸、羽田正、中島隆博、受田宏之、遠藤貢、和田毅、伊達聖伸、田辺明生、馬路智仁、清水光明	4. 発行年 2022年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 429
3. 書名 地球的思考ーグローバル・スタディーズの課題	

1. 著者名 山内志朗、渡辺優、アダム・タカハシ、新居洋子、大西克智、池田真治、小倉紀蔵、中島隆博、藍弘岳、松浦純、金子晴勇、安形麻理、伊藤博明	4. 発行年 2020年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 307
3. 書名 世界哲学史5 パロックの哲学	

1. 著者名 川口茂雄、越門勝彦、三宅岳史(編)、渡辺優	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 408
3. 書名 現代フランス哲学入門	

1. 著者名 ミシェル・ド・セルトー、山田登世子、今村仁司、渡辺優	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ちくま学芸文庫	5. 総ページ数 560
3. 書名 日常実践のポイエティック	

1. 著者名 長沢栄治、服部美奈、小林寧子、長谷部圭彦、秋葉淳、山_和美、マルコ・ソッティエーレ、池田美佐子、久志本裕子、内田直義、イディリス・ダニシマス、見原礼子、鳥山純子、中島悠介、大坪玲子、日下部達哉、鴨川明子、中田有紀、河野明日香、松本ますみ、原 智佐	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ3 教育とエンパワーメント	

1. 著者名 岩本和子、井内千紗、中條健志、Vanbaelen Ruth、見原礼子、吹田映子、吉村和明、正木裕子、山本浩幸、高岡優希、石部尚登	4. 発行年 2021年
2. 出版社 松籟社	5. 総ページ数 311
3. 書名 ベルギーの「移民」社会と文化：新たな文化的多層性に向けて	

1. 著者名 Eckhard Hitzer, Goro Christoph Kimura	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Osiander/Bookmundo	5. 総ページ数 61
3. 書名 Christ Centered Stewardship for the Environment. Responsibility, Energy, Care and Architecture	

1. 著者名 木村至聖、森久聡、岡本亮輔、加藤久子、ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 216
3. 書名 社会学で読み解く文化遺産ー新しい研究の視点とフィールド	

1. 著者名 渡辺克義、加藤久子、小山哲、西村木綿、福嶋千穂、宮崎悠ほか	4. 発行年 2020年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 432
3. 書名 ポーランドの歴史を知るための55章	

1. 著者名 羽場久美子、井口壽乃、大津留厚、桑名映子、田口雅弘、中澤達哉、長與進、三谷恵子、山崎信一、加藤久子、ほか	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 768
3. 書名 中欧・東欧文化事典	

1. 著者名 加藤有子、ヤツェク・レオチャク、バルバラ・エンゲルキング、ヨアンナ・トカルスカ=バキル、ヤン・ブウォンスキ、高橋哲哉、ピョートル・フォレツキ、加藤久子、西成彦、東琢磨	4. 発行年 2021年
2. 出版社 みすず書房	5. 総ページ数 352
3. 書名 ホロコーストとヒロシマ ポーランドと日本における第二次世界大戦の記憶	

1. 著者名 坂井一成、八十田博人、東史彦、池本大輔、市川顕、井上典之、上原良子、臼井陽一郎、遠藤乾、岡部みどり、萩野晃、川島周一、川村陶子、黒田友哉、小畑理香、小林正英、小森宏美、小山洋司、五月女律子、西脇靖洋ほか29名	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 226
3. 書名 よくわかるEU政治	

1. 著者名 O. A. ウェスタッド、益田実、山本健、小川浩之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 462
3. 書名 冷戦 ワールド・ヒストリー(下)	

1. 著者名 遠藤泰生、西崎文子、高橋均、村田雄二郎、金志映、小川浩之、竹村文彦、菅原克也、安岡治子、ロブ・クルス、鰐淵秀一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 313
3. 書名 反米 共生の代償か、闘争の胎動か	

1. 著者名 森井裕一、山田文比古、八十田博人、正躰朝香、武藤祥、村田奈々子、五月女律子、仙谷学、小川浩之、戸澤英典、岩田健治、東野篤子、小林正英	4. 発行年 2022年
2. 出版社 有斐閣	5. 総ページ数 344
3. 書名 ヨーロッパの政治経済・入門〔新版〕	

1. 著者名 Raphael Liogier、大嶋えり子、隠岐さや香、増田一夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京大学 東アジア藝文書院	5. 総ページ数 48
3. 書名 EAA Booklet 28 EAA Forum 19 フランスから見た#MeToo運動 ラファエル・リオジエ『男性性の探究』をめぐって	

1. 著者名 Kenneth B. Moss, Benjamin Nathans, Taro Tsurumi	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University of Pennsylvania Press	5. 総ページ数 464
3. 書名 From Europe's East to the Middle East: Israel's Russian and Polish Lineages	

1. 著者名 Kimiyo Ogawa, Mika Suzuki, Hideichi Eto, Noriyuki Harada, Yuri Yoshino, Miki Iwata, Noriyuki Hattori, Tadayuki Fukumoto, Masaaki Ogura, Hitoshi Suwabe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Bucknell University Press	5. 総ページ数 214
3. 書名 Johnson in Japan	

1. 著者名 小川公代	4. 発行年 2021年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 226
3. 書名 ケアの倫理とエンパワメント	

1. 著者名 巽孝之、下河辺美知子、越智博美、後藤和彦、原田範行、舌津智之、古井義昭、圓月勝博、水野尚之、渡邊克昭、小川公代、阿部公彦、諏訪部浩一、新田啓子、渡邊真理子、池末陽子、遠藤不比人、大河内昌、中井亜佐子、黒崎政男他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 545
3. 書名 脱領域・脱構築・脱半球 二十一世紀人文学のために	

1. 著者名 Cheryl A. Wilson, Maria H. Frawley, Jodi L. Wyatt, Peter Graham, Susan J. Wolfson, Emily Rohrbach, George Justice, Michael D. Lewis, Jodi A. Devine, John C. Leffel, Juliette Wells, Kimiyo Ogawa et al	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 622
3. 書名 The Routledge Companion to Jane Austen	

1. 著者名 樋口映美、デイヴィッド・セセルスキ、佐藤勲治、ジャーマ・A・ジャクソン、ヴェラ・セセルスキ、青木利夫、橋和雅、ヘザー・A・ウィリアムズ、佐々木孝弘、永島剛、佐原彩子、兼子歩、土屋和代、大串潤児	4. 発行年 2020年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 228
3. 書名 歴史のなかの人びと 出会い・喚起・共感	

1. 著者名 矢口祐人、森本あんり、久保文明、土屋和代、板津木綿子、林香里、吉原真理、清水さゆり	4. 発行年 2020年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 272
3. 書名 東大塾 現代アメリカ講義 トランプのアメリカを読む	

1. 著者名 梅崎透、坂下史子、宮田伊知郎、小田悠生、今野裕子、鈴木周太郎、高田馨里、土屋和代、土屋智子、野口久美子、久野愛、藤永康政、丸山雄生、鱈淵秀一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 202
3. 書名 よくわかるアメリカの歴史	

1. 著者名 岩本裕子、西_緑、土屋和代、佐藤千登勢、北美幸、兼子歩、川島正樹	4. 発行年 2021年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 271
3. 書名 自由と解放を求める人びと アメリカ黒人の闘争と多面的な連携の歴史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	渡辺 優 (WATANABE Yu) (40736857)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・准教授 (12601)	
研究分担者	見原 礼子 (MIHARA Reiko) (70580786)	同志社大学・グローバル地域文化学部・准教授 (34310)	
研究分担者	木村 護郎クリストフ (KIMURA Goro Christoph) (90348839)	上智大学・外国語学部・教授 (32621)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	渡邊 千秋 (WATANABE Chiaki) (00292459)	青山学院大学・国際政治経済学部・教授 (32601)	
研究分担者	小川 浩之 (OGAWA Hiroyuki) (60362555)	東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・教授 (12601)	
研究分担者	西脇 靖洋 (NISHIWAKI Yasuhiro) (40644977)	静岡文化芸術大学・文化政策学部・准教授 (23804)	
研究分担者	加藤 久子 (KATO Hisako) (10646285)	大和大学・社会学部・教授 (34453)	
研究分担者	安達 智史 (ADACHI Satoshi) (90756826)	関西学院大学・社会学部・教授 (34504)	
研究分担者	立田 由紀恵 (TATTA Yukie) (10619745)	多摩大学・グローバルスタディーズ学部・非常勤講師 (32695)	
研究分担者	佐藤 香寿実 (SATO Kazumi) (90897539)	芝浦工業大学・建築学部・講師 (32619)	
研究分担者	江川 純一 (EGAWA Junichi) (40636693)	明治学院大学・国際学部・研究員 (32683)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	増田 一夫 (MASUDA Kazuo) (70209435)	東京大学・大学院総合文化研究科・名誉教授 (12601)	
研究分担者	小川 公代 (OGAWA Kimiyo) (50407376)	上智大学・外国語学部・教授 (32621)	
研究分担者	井上 まどか (INOUE Madoka) (70468619)	清泉女子大学・文学部・准教授 (32632)	
研究分担者	土屋 和代 (TSUCHIYA Kazuyo) (60555621)	東京大学・大学院総合文化研究科・准教授 (12601)	
研究分担者	鶴見 太郎 (TSURUMI Taro) (00735623)	東京大学・大学院総合文化研究科・准教授 (12601)	
研究分担者	浜田 華練 (HAMADA Karen) (70964469)	東京大学・大学院総合文化研究科・准教授 (12601)	
研究分担者	佐藤 清子 (SATO Seiko) (10816391)	東京大学・大学院人文社会系研究科（文学部）・助教 (12601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計18件

国際研究集会 Islam and Muslims, Discourses and Debates on Islam and Muslims, and the Roles of Scholars in the Public Debates	開催年 2023年～2023年
---	--------------------

国際研究集会 Les nouveaux defis de la laicite : une comparaison franco-japonaise	開催年 2023年 ~ 2023年
国際研究集会 La laicite francaise et l'emancipation des femmes : vers une egalite relle	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Les droits humains sont-ils universels ? Un dialogue franco-japonai	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Resister aux discours de haine	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観	開催年 2022年 ~ 2022年
国際研究集会 Islam and Muslims, Discourses and Debates on Islam and Muslims, and the Roles of Scholars in the Public Debates	開催年 2023年 ~ 2023年
国際研究集会 Les nouveaux defis de la laicite : une comparaison franco-japonaise	開催年 2023年 ~ 2023年
国際研究集会 La laicite francaise et l'emancipation des femmes : vers une egalite relle	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Les droits humains sont-ils universels ? Un dialogue franco-japonai	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Resister aux discours de haine	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 Seminaire de jeunes chercheurs a l'Universite de Tokyo	開催年 2024年 ~ 2024年
国際研究集会 日仏におけるイスラームと政治的・社会的価値観	開催年 2022年 ~ 2022年
国際研究集会 国際シンポジウム「ライシテから「分離主義」へ 1905年12月9日法問題からみるフランス社会と共和主義	開催年 2020年 ~ 2020年
国際研究集会 討論会「女性蔑視はどうつくられるか ラファエル・リオジエ『男性性の探究』をめぐって」	開催年 2021年 ~ 2021年
国際研究集会 講演会「フランス・カトリック教会と性的スキャンダル」	開催年 2022年 ~ 2022年
国際研究集会 講演会「フランスにおける宗教的状況の特殊性」	開催年 2022年 ~ 2022年

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------